

The University of Tokyo, 1997

東京大学の概要

平成9年度

学年歴(平成9年度)

平成9年4月 1日(火)	学年始め
〃	春季休業(～7日)
11日(金)	入学式(日本武道館)
7月 11日(金)	夏季休業(教養学部を除く)(～9月10日)
15日(火)	夏季休業(教養学部)(～8月31日)
12月 25日(木)	冬季休業(～1月7日)
平成10年3月 27日(金)	卒業式(大講堂)
30日(月)	学位記授与式(大講堂)
31日(火)	学年終り

【東京大学広報センター】

東京大学の情報発信専用の施設として、東京大学と一般社会(国民)とのコミュニケーションを深め、より広範な情報交流を行うことにより、高等教育、学術研究等に対する一層の理解と協力を得ることを目的として、平成7年9月21日に龍岡門横にオープンした。なお、情報提供の概要としては、次のコーナーが準備されている。

<1階コーナー>
視聴覚コーナー
情報検索コーナー

<2階コーナー>
研究情報コーナー
大学情報コーナー

目 次

総 長	
挨拶	4
歴代総長	5
沿 革	
沿革	6
沿革略図	8
組 織	
役職員	10
機構図	12
学部 学科・学科目数等	14
大学院研究科 専攻・講座数	15
附置研究所	16
学内共同教育研究施設・全国共同利用施設	18
教職員数	19
入学・在籍・卒業後の状況等	
学生・研究生・聴講生数	20
学部学生の入学状況	22
大学院学生の入学状況	23
入学者選抜方法等の概要	24
大学院入学者選抜方法の概要	25
学部卒業生数	26
大学院修了者数	26
論文提出による博士学位取得者数	27
学部卒業生の卒業後の状況	28
大学院修了者の修了後の状況	29
大学院における学生の交流状況	30
附属学校の入学定員・在学者数	31
国際交流	
国際交流協定一覧	32
外国へ留学している学生数	34
外国人留学生数	35
外国人研究者の受入状況	36
国際交流会館	37
発展途上国との学術交流・協力	38
研究体制	
研究員等の受入状況	39
寄付講座・寄付研究部門設置状況	40
国有特許保有件数	41
附属病院診療科・病床数等	42
部局別蔵書数	43
財政	
平成8年度支出総額	44
科学研究費補助金	45
外部資金	45
キャンパス	
施設等所在地及び土地・建物面積	46
講堂等施設・学生関係施設等	49
施設分布図	50
本郷・駒場キャンパス建物配置図	52
キャンパス計画の概要	54
本学への経路	55



東京大学の全貌を簡潔に紹介するのは、至難の技であります。だが、しばしばいわれているように、組織としての巨大さがそれをさまたげているわけではありません。

たしかに10の学部、11の大学院研究科、11の附置研究所からなり、その附属施設が北海道から奄美大島まで散在している東京大学は、日本の国立大学としては最大の規模を誇るものです。留学生を加えれば26,270人も学生を受け入れ、7,800人を超える教職員を擁している点においても、それは確かな事実であります。けれども、東京大学の全貌を提示するのが厄介なのは、こうした規模の大きさによるものではありません。問題は、東大と略称されているこの大学をめぐる社会的なイメージの、ほとんど「神話的」とも呼びうる過剰な流通ぶりにあります。語る主体であることより、語られる対象となることの方が遥かに多い大学としての東大。あたかもその「神話性」が東京大学の定義であるかのように、事態が進行してしまうのです。

いたるところで交換されている東大のイメージは、好意的なものから無償の悪意がこめられたものまでさまざまあります。その毀誉褒貶の激しさがかえって東京大学の特権性をきわだたせることにもなるのですが、そうしたイメージのほとんどは、大学のほんの一部の表情を誇大に増幅させたものにすぎません。にもかかわらず、そうしたイメージには、虚構ならではの説得力がそなわっております。もちろん、東京大学をめぐる客観的な情報は、広報委員会の手でそのつど律義に発信されております。しかし、それが社会に伝播されるイメージはごくつましい輪郭におさまリ、すでにかたちづくられている「神話的」なイメージの現実感にはどうも拮抗しえません。東京大学が公開する情報よりも、東大のイメージばかりがあたりに繁茂してしまうのはそうした理由によります。

今年で創立百二十周年を迎える東京大学は、日本で最も古い大学であります。その伝統ある大学が、あたりに行きかう東大の「神話的」なイメージをあえて修正してこなかったのは事実かもしれません。日本を代表する優れた大学だという揺るぎない自覚から、それを微笑とともにやりすごすのが伝統となっていたことも確かであります。しかし、社会に流通している虚構のイメージが大学の発信する現実の情報をたえず凌駕しているのは、社会的にみて健康な事態ではありません。1990年代に入ってから、東京大学が「白書」(『東京大学 現状と課題』)の刊行に踏み切ったのは、大学の意志として、それを多少なりとも是正したからであります。現在では、それぞれの学部や研究所で外部評価や自己点検をさかんに行っており、そのほとんどが公けにされております。ここにおとどけるのは、それらにもりこまれていた主要な情報をごく簡潔に要約したものにほかなりません。

この『東京大学の概要』に、誇大な野心は秘められておりません。私が願っているのは、ここに読まれる図表や数字や略式の記述から、日本で最も古くかつ最も新しい東京大学というイメージが、多少なりともあたりに行きわたることにつきております。実際、東京大学は、知的な伝統と知的な革新性がたえず創造的に共存しあう空間なのであり、今後もその方向で発展しつづけるものと確信しております。

東京大学総長

達 寧 重 彦

名称	就任年月日	氏名
東京大学	法理文3学部総理 明10.4 加藤弘之	医学部総理 明10.4 池田謙齋
	総理	
帝国大学	明14.7	加藤弘之
	〃 19.1 (事務取扱)	外山正一
	〃 19.3 (事務取扱)	外山正洪
	〃 19.3	外山正洪
	〃 23.5	外山正洪
	〃 26.3	外山正洪
	〃 30.11	外山正洪
	〃 31.5	外山正洪
	〃 34.6	外山正洪
	〃 38.12 (兼)	外山正洪
東京帝国大学	〃 38.12	外山正洪
	大元.8 (事務取扱)	外山正洪
	〃 2.5	外山正洪
	〃 9.9	外山正洪
	昭3.12	外山正洪
	〃 9.12	外山正洪
	〃 13.11 (事務取扱)	外山正洪
	〃 13.12	外山正洪
	〃 18.2 (事務取扱)	外山正洪
	〃 18.3	外山正洪
東京大学	〃 20.12	外山正洪
	〃 26.12	外山正洪
	〃 32.12	外山正洪
	〃 38.12	外山正洪
	〃 43.11 (事務取扱)	外山正洪
	〃 44.4	外山正洪
	〃 48.4	外山正洪
	〃 52.4	外山正洪
	〃 56.4	外山正洪
	〃 60.4	外山正洪
平元.4	外山正洪	
〃 5.4	外山正洪	
〃 9.4	外山正洪	

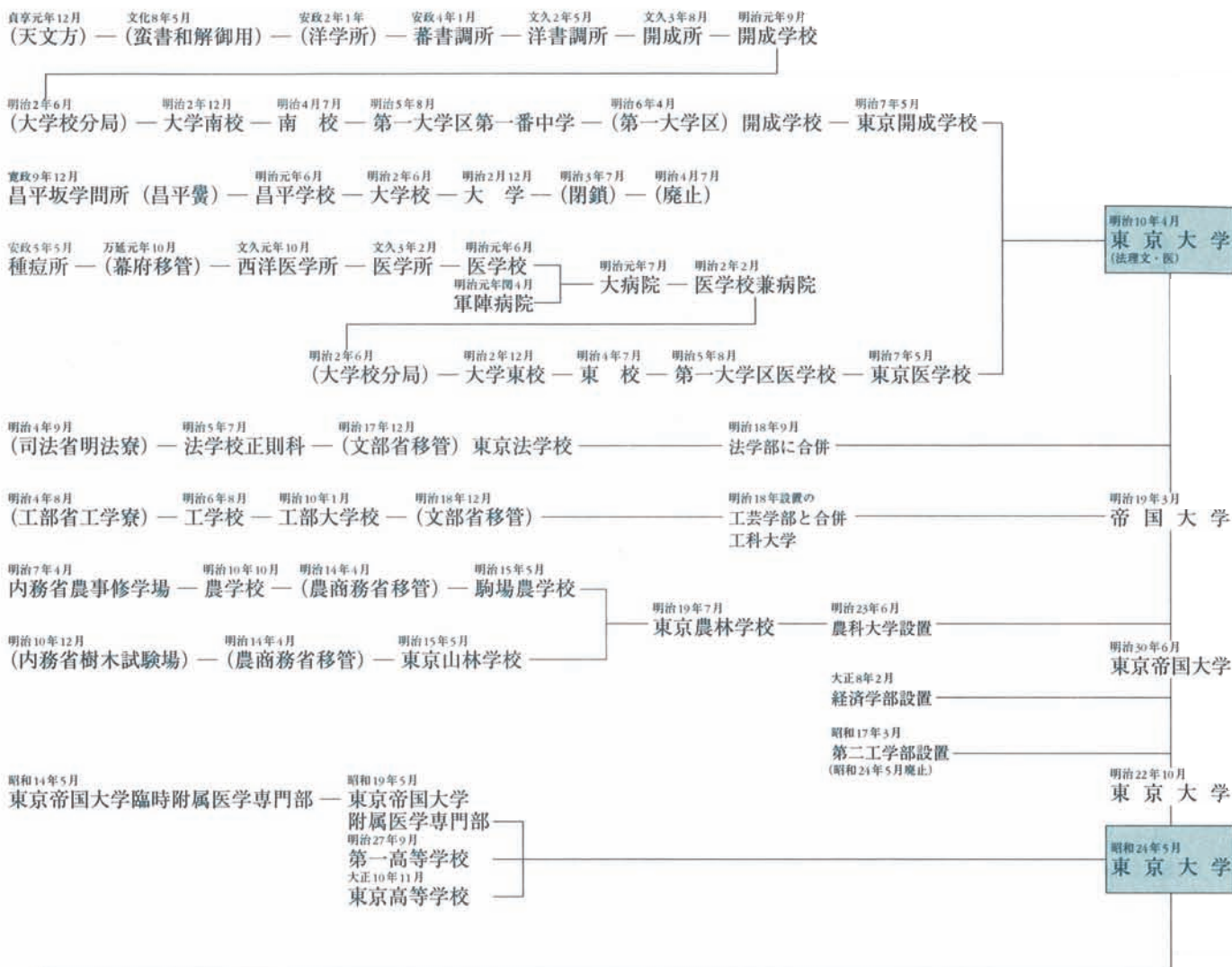
東京大学前史(明治元年~同10年)

名称・就任年月日・氏名	名称・就任年月日・氏名
開成学校	医学学校
明元.9 柳川春三	明元.6 前田信輔
〃元.9 川勝近江	〃元.10 緒方惟良
〃元.12 内田恒次郎	〃2.1 石神良策
大学南校	大学東校
南校	〃3. 相良知安
〃2.7 加藤弘之	〃4. 岩佐純中
〃2.9 町田久成	〃4.5 佐藤尚中
第一大学区	東校
第一番中学	第一大学区
校長(学長)	校長(学長)
〃5.2 辻新次	〃5.8 相良知安
〃5.10 柳本直太郎	〃5.9 長谷川安泰
開成学校	〃6.6 相良知安
〃6.5 伴正順	
〃6.12 畠山義成	
東京開成学校	東京医学学校
綜理	〃7.9 長與專齋
〃10.2 加藤弘之	〃10.1 池田謙齋

	年 月	事 項	
明治	10. 4.12 (1877)	東京大学創設（東京開成学校と東京医学校を合併、旧東京開成学校を改組し法・理・文の3学部、旧東京医学校を改組し医学部を設置、東京大学予備門を附属）	
	11. 12	文部省、東京大学に学位（学士号）の授与権を与える	
	12. 4	東京大学の授与する学士号を法学士・理学士・文学士・医学士・製薬士とする	
	13. 8	法理文の三学部を学士研究科を設置（大学院の前身）	
	14. 6	東京大学職制を制定（東京大学に総理を置き、4学部と予備門を統括）	
	14. 8	諮詢会を設置（評議会・学部教授会の前身）	
	17. 8	本部事務室及び法学部・文学部を神田錦町から本郷に移転	
	17. 10	東京大学副総理を置く	
	18. 9	理学部を神田錦町から本郷に移転	
	19. 3	帝国大学令公布 工部大学校を統合して帝国大学に改組（法・医・工・文・理の5分科大学及び大学院を設置）	
	19. 3	大学院規程を制定（攻究期間2年以内）	
	19. 4	分科大学諸学科の課程を制定（法・工・文・理は修業年限3年、医は4年）	
	20. 5	学位令公布（学位は博士・大博士とし、授与権者を文部大臣とする）	
	20. 7	分科大学卒業生に授与する学士号は称号とし、法学士・医学士・薬学士・工学士・文学士・理学士とする	
	21. 5	初めて博士号を授与	
	23. 6	農科大学設置	
	26. 8	帝国大学令中改正（評議会の条項改正、講座制創設、各分科大学に教授会設置）	
	30. 6	帝国大学を東京帝国大学と改称	
	大正	5. 4 (1916)	伝染病研究所を設置
		8. 2	帝国大学令改正（分科大学を廃し学部を置く） 本学に法・医・工・文・理・農の各学部のほか経済学部を新設
		9. 7	学位令改正（大学が授与権、博士は論文提出のみとする）
		10. 3	本学学位規則を制定（法学・医学・薬学・工学・文学・理学・農学・経済学の各博士）
		10. 4	学年を4月1日から翌年3月31日までとする
		10. 7	航空研究所を設置
		10. 11	東京天文台を設置
		14. 7	大講堂落成
		14. 11	地震研究所を設置
		15. 8	本郷区本富士町の前田侯爵邸敷地約42,000㎡を所有（農学部敷地と土地交換）
	昭和	6. 12 (1931)	赤門国宝に指定
		10. 7	農学部本郷向ヶ岡弥生町に移転（第一高等学校と敷地交換）
10. 11		外国人の学部入学に関する規程を設ける	
14. 5		臨時附属医学専門部を設置	
16. 10		大学・学部等の修業年限の臨時短縮に関する勅令公布	
16. 11		東洋文化研究所を設置	
17. 3		第二工学部を設置	
19. 1		南方自然科学研究所を設置	
20. 1		放射線化学研究所を設置	
20. 6		帝国大学処務規程制定（事務局、学生部を設置）	
21. 3		理工学研究所を設置（航空研究所を改組）	
21. 8		社会科学研究所を設置	
22. 3		教育基本法、学校教育法公布（大学令等廃止）	
22. 10		東京帝国大学を東京大学と改称（帝国大学令等を改正）	
24. 5		第二工学部学生募集を停止	
24. 5		国立学校設置法公布 新制東京大学創設（教養学部・教育学部が新設され、法・医・工・文・理・農・経済・教養・教育の9学部設置）、新聞研究所・生産技術研究所を新設	
24. 10		学部通則一部改正（修業年限4年、前期2年は教養学部、後期2年は各学部において教育、医学部医学科は修業年限を4年）	
25. 3		史料編纂所、文学部附属から本学附置研究所となる	
26. 4		教育学部附属中学校・高等学校を設置（東京高等学校を廃止）	
28. 3		大学院学則（新制）を制定 東京大学大学院設置（人文科学・社会科学・数物系・化学系・生物系の5研究科を設置）	
28. 4	新制大学院発足（学位規則公布） （新制度の学位は博士・修士の2種）		
28. 7	応用微生物研究所、宇宙線観測所を設置		
29. 9	「国立大学の講座に関する省令」を制定		
30. 7	原子核研究所を設置		

年 月	事 項
昭和 31. 10	大学設置基準制定
32. 4	物性研究所を設置
32. 4	東京大学学位規則を制定
33. 4	薬学部を設置
33. 4	航空研究所を設置 (理工学研究所を廃止)
34. 4	事務局に部制を実施
35. 5	東京大学事務局組織規程を制定
35. 12	事務局管轄課を改組し施設部を設置
37. 3	海洋研究所を設置
37. 3	生産技術研究所六本木に移転
38. 3	大学院の人文科学・社会科学の2研究科を改組し、人文科学・教育学・法学政治学・社会学・経済学の5研究科を設置
39. 2	東京大学名誉教授称号授与規則を制定
39. 4	宇宙航空研究所を設置 (航空研究所を廃止)
40. 4	大学院の生物系・数物系・化学系の3研究科を改組し、理学系・医学系・薬学系・工学系・農学系の5研究科を設置
41. 4	総合研究資料館、大型計算機センター、保健管理センターを設置
42. 6	医科学研究所を設置 (伝染病研究所を廃止)
42. 6	低温センターを設置
43. 1	医学部学生研修医問題でストライキ実施 (東大紛争の発端)
43. 3	紛争のため大講堂での統一卒業式を中止
45. 4	アイソトープ総合センターを設置
47. 5	原子力研究総合センター・教育用計算機センターを設置
50. 4	環境安全センターを設置
51. 5	宇宙線観測所を宇宙線研究所と改称
52. 4	創立百年記念式典を挙行
54. 9	龍岡門近傍に本部庁舎が完成し、竣工式を挙行
56. 4	宇宙航空研究所を廃止 (大学共同利用機関、宇宙科学研究所へ転換)
58. 4	文献情報センターを設置 (情報図書館学研究センターの転換)
58. 4	遺伝子実験施設を設置
60. 4	留学生教育センターを設置
61. 4	文献情報センターを廃止 (大学共同利用機関、学術情報センターへ転換)
61. 7	山上会館が竣工
62. 5	先端科学技術研究センターを設置
63. 6	東京天文台を廃止 (大学共同利用機関、国立天文台へ転換)
平成 元. 1	御殿下記念館が竣工
(1989)	
2. 6	留学生センターを設置 (留学生教育センターの転換)
3. 3	大講堂での卒業式を再開
3. 4	気候システム研究センターを設置
3. 4	大学院の重点化開始
4. 4	大学院数理科学研究科を設置
4. 4	人工物工学研究センターを設置
4. 4	新聞研究所を社会情報研究所に改組
5. 4	副学長を設置
5. 4	環境安全センターを環境安全研究センターに改組
5. 4	応用微生物研究所を分子細胞生物学研究所に改組
5. 4	生物生産工学研究センターを設置
6. 4	農学系研究科を農学生命科学研究科に改称
6. 6	素粒子物理国際研究センターを設置
6. 6	地震研究所を全国共同利用研究所に改組
7. 4	人文科学研究科を人文社会系研究科に名称変更・改組し、社会学研究科を廃止
7. 4	アジア生物資源環境研究センターを設置
8. 5	総合研究資料館を総合研究博物館に改組
8. 5	大学総合教育研究センターを設置
8. 5	国際・産学共同研究センターを設置
8. 5	大規模集積システム設計教育研究センターを設置
8. 5	事務局・学生部を一元化 (研究協力部設置、庶務部を総務部に改称)
9. 3	原子核研究所を廃止 (大学共同利用機関、高エネルギー加速器研究機構へ転換)
9. 4	大学院の重点化完了

学部・大学院沿革

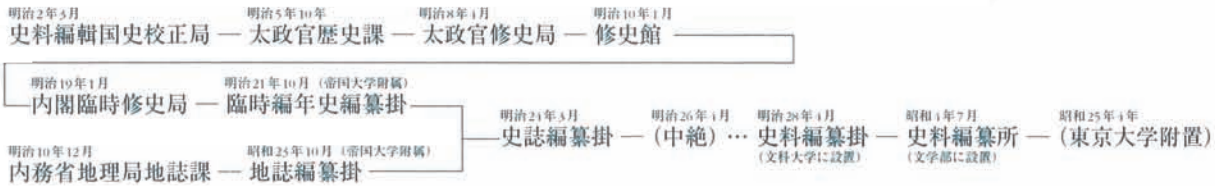


- 法 学 部
- 医 学 部
- 工 学 部
- 文 学 部
- 理 学 部
- 農 学 部
- 経 済 学 部
- 教 養 学 部 (昭和24年5月)
- 教 育 学 部 (昭和24年6月)
- 薬 学 部 (昭和33年4月)



各研究所等沿革

史料編さん所



医学研究所



宇宙航空研究所



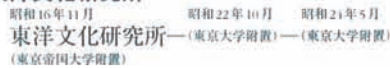
東京天文台



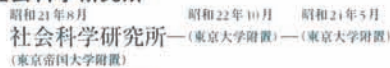
地震研究所



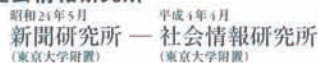
東洋文化研究所



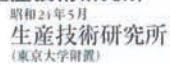
社会科学研究所



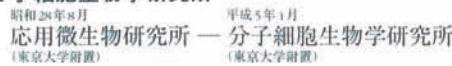
社会情報研究所



生産技術研究所



分子細胞生物学研究所



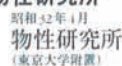
宇宙線研究所



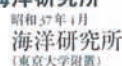
原子核研究所



物性研究所



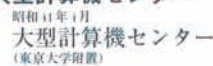
海洋研究所



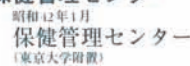
総合研究博物館



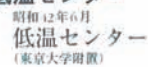
大型計算機センター



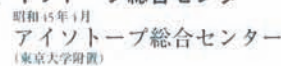
保健管理センター



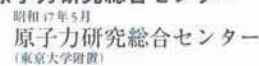
低温センター



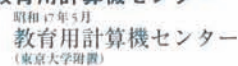
アイソトープ総合センター



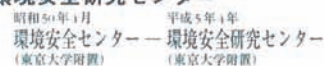
原子力研究総合センター



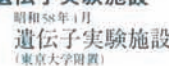
教育用計算機センター



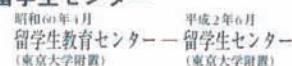
環境安全研究センター



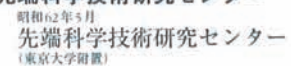
遺伝子実験施設



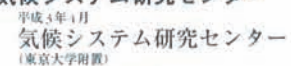
留学生センター



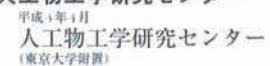
先端科学技術研究センター



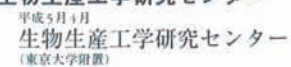
気候システム研究センター



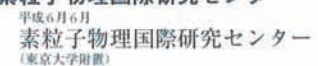
人工工学研究センター



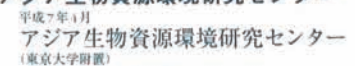
生物生産工学研究センター



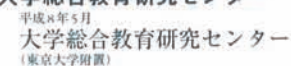
素粒子物理国際研究センター



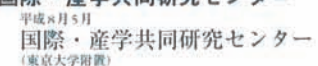
アジア生物資源環境研究センター



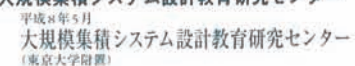
大学総合教育研究センター



国際・産学共同研究センター



大規模集積システム設計教育研究センター



総長

総長室
副学長
副学長

事務局

事務局長
企画調整官
総務部
総務部長
総務課長
人事課長
学務課長
経理部
経理部長
主計課長
経理課長
契約課長
管財課長
情報処理課長
施設部
施設部長
企画課長
整備計画課長
建築課長
機械設備課長
電気・通信設備課長

学生部

学生部長
学生課長
厚生課長
入試課長

研究協力部

研究協力部長
研究協力課長
国際交流課長
留学生課長

附属図書館

図書館長
事務部長
総務課長
情報管理課長
情報サービス課長

学部・大学院・同附属施設

大学院法学政治学研究所・法学部

法学政治学研究科長・法学部長
法学政治学研究科比較法政国際センター長
外国法文献センター長
近代日本法政史料センター長
法学部・法学政治学研究科事務長

大学院医学系研究所・医学部

医学系研究科長・医学部長
看護学校長
助産婦学校長
動物実験施設長
医学部・医学系研究科事務長

附属病院長

事務部長
総務課長
管理課長
医事課長
附属病院分院長
事務長

連 實 重 彦

小 林 俊 一
青 柳 正 規

中 西 釦 治
工 藤 敏 夫

中 原 勇 夫
山 口 清 次 郎
加 藤 幹 夫 忠
出 澤

谷 口 辰 男
田 添 美 樹 夫
加 藤 泰 久
山 内 正 美
宮 田 靖 之
泉 谷 弘 幸

上 村 保 人
永 島 弘 一
新 保 幸 一
高 橋 俊 樹
原 正 昭
岡 田 康 裕

大 内 剛
飯 塚 素 弘
中 村 直
両 角 晶 仁

金 田 正 男
丸 山 謙 一
高 林 義 憲
酒 井 和 博

六 本 佳 平
雨 森 弘 行
大 埜 浩 一
伊 藤 祐 三
笹 川 郁 夫

青 山 善 充

高 橋 良 了

石 川 隆 俊
中 原 一 彦
武 谷 雄 二
石 川 隆 俊
洪 谷 仁 司
金 澤 一 郎
柳 下 茂
小 室 慎 一
米 谷 光 曉
永 井 義 美
川 名 尚 文
廣 重 武

大学院工学系研究所・工学部

工学系研究科長・工学部長
総合試験所長
原子力工学研究施設長
工学系研究科・工学部事務部長
総務課長
経理課長
教務課長
総合試験所事務長

大学院人文社会系研究所・文学部

人文社会系研究科長・文学部長
文化交流研究施設長
北海文化研究常呂実習施設長
文学部・人文社会系研究科事務長

大学院理学系研究所・理学部

理学系研究科長・理学部長
理学系研究科原子核科学研究センター長
臨海実験所長
植物園長
スペクトル化学研究センター長
地殻化学実験施設長
天文学教育研究センター長
理学部・理学系研究科事務長

大学院農学生命科学研究科・農学部

農学生命科学研究科長・農学部長
農場長
演習林長
牧場長
家畜病院長
水産実験所長
緑地植物実験所長
農学部・農学生命科学研究科事務長
農場事務長
演習林事務長
牧場事務長

大学院経済学研究所・経済学部

経済学研究科長・経済学部長
日本産業経済研究施設長
経済学部・経済学研究科事務長

大学院総合文化研究所・教養学部

総合文化研究科長・教養学部長
アメリカ研究資料センター長
教養学部等事務部長
総務課長
経理課長
教務課長
学生課長
図書課長

大学院教育学研究所・教育学部

教育学研究科長・教育学部長
教育学研究科学校臨床
総合教育研究センター長
中学校長
高等学校長
教育学部・教育学研究科事務長

大学院薬学系研究所・薬学部

薬学系研究科長・薬学部長
薬用植物園長
薬学部・薬学系研究科事務長

大学院数理学研究所

数理学研究科長

附置研究所・同附属施設

医科学研究所
医科学研究所長

岡 村 甫
〃
〃
袖 原 義 久
有 岡 雅 明
飯 塚 正 人
石 井 金 夫
飯 野 寿 一

樺 山 紘 一
〃
〃
相 川 弘 二

壽 榮 松 宏 仁
石 原 正 泰
森 澤 正 昭
長 田 敏 行
太 田 俊 明
野 津 憲 治
祖父 江 義 明
小 林 銀 一郎

小 林 正 彦
崎 山 亮 三
八 木 久 義
高 橋 迪 雄
長 谷 川 篤 彦
若 林 久 嗣
秋 田 重 誠
福 井 信 義
梅 澤 宣 喜
植 田 榮 司
高 橋 長 五郎

斎 藤 静 樹
〃
千 葉 勝 志

大 森 彌
〃
中 村 龍 雄
久 保 田 忠 明
真 取 秀 一
渡 邊 信 人
石 松 鉄 洋
金 原 貴

浦 野 東 洋 一
近 藤 邦 夫
浦 野 東 洋 一
大 村 彰 道
津 脇 功

名 取 俊 二
〃
石 渡 孝 義

落 合 卓 四郎

吉 田 光 昭

神川 野口 洋 一
寺崎 弘 誠
鈴木 孝 典
小川 林 孝 彰
土川 孝 平

研究船白鳳丸船長
大槌臨海研究センター長
海洋科学国際共同研究センター長
事務部長
総務課長
経理課長

林 良 博
内野 倉 國 光
鈴木 紀 夫
小牧 田 研 一
小豊 武 市 正 人
松尾 田 友 友 友
堀川 口 木 田 凱 昭
二泉 岩 松 泉 修 千
上野 川 澤 修 一
金子 井 元 久
安岡 豊 照 至
岡村 甫

学内共同教育研究施設等

総合研究博物館長
低温センター長
アイソトープ総合センター長
原子力研究総合センター長
事務部長
教育用計算機センター長
環境安全研究センター長
遺伝子実験施設長
留学生センター長
先端科学技術研究センター長
事務部長
人工物工学研究センター長
生物生産工学研究センター長
アジア生物資源環境研究センター長
大学総合教育研究センター長
国際・産学共同研究センター長
保健管理センター所長
インテリジェント・モデリング・ラボラトリー長

全国共同利用施設

大型計算機センター長
事務部長
気候システム研究センター長
素粒子物理国際研究センター長
大規模集積システム設計教育研究センター長

齊 藤 忠 夫
相 浦 勝 巳
住 明 正
折 戸 周 治
鳳 紘 一郎

(平成9年7月1日現在)

実験動物研究施設長
奄美病害動物研究施設長
微生物株保存施設長
遺伝子解析施設長
ヒトゲノム解析センター長
病院長
事務部長
管理課長
経理課長

勝 木 元 也
小 島 莊 明
金ヶ崎 士 朗
齋 藤 泉
中 村 祐 輔
浅 野 茂 隆
清 水 洋 美
星 昭 一
高 橋 忠 世

地震研究所

地震研究所長
地震予知研究推進センター長
地震地殻変動観測センター長
地震予知情報センター長
火山噴火予知研究推進センター長
海半球観測研究センター長
八ヶ岳地球電磁気観測所長
江ノ島津波観測所長
事務部長

藤 井 敏 嗣
大 中 康 譽
金 沢 敏 彦
菊 地 正 幸
渡 辺 秀 文
深 尾 良 夫
歌 田 久 司
都 司 嘉 宣
大 川 勉

東洋文化研究所

東洋文化研究所長
東洋学文献センター長
事務部長

濱 下 武 志
小 林 邦 男

社会科学研究所

社会科学研究所長
日本社会研究情報センター長
事務部長

和 田 春 樹
鈴 木 利 次

社会情報研究所

社会情報研究所長
情報メディア研究資料センター長
事務部長

濱 田 純 一
杉 山 光 信
坂 田 一 男

生産技術研究所

生産技術研究所長
千葉実験所長
計測技術開発センター長
国際災害軽減工学研究センター長
概念情報工学研究センター長
材料界面マイクロ工学研究センター長
事務部長
総務課長
経理課長

鈴 木 基 之
虫 明 功 臣
村 上 周 三
須 藤 研 一
坂 内 正 夫
工 藤 徹 一
井手ノ上 正己
佐 藤 國 雄
田 中 惠 庫

史料編さん所

史料編さん所長
画像史料解析センター長
事務部長

黒 田 日出男
岡 部 健 一

分子細胞生物学研究所

分子細胞生物学研究所長
細胞・機能高分子総合センター長
事務部長

鈴 木 紘 一
杉 山 純 多
正 木 忠 夫

宇宙線研究所

宇宙線研究所長
乗鞍観測所長
明野観測所長
神岡宇宙素粒子研究施設長
事務部長

戸 塚 洋 二
湯 田 利 典
永 野 元 彦
戸 塚 洋 二
福 忠 弘

物性研究所

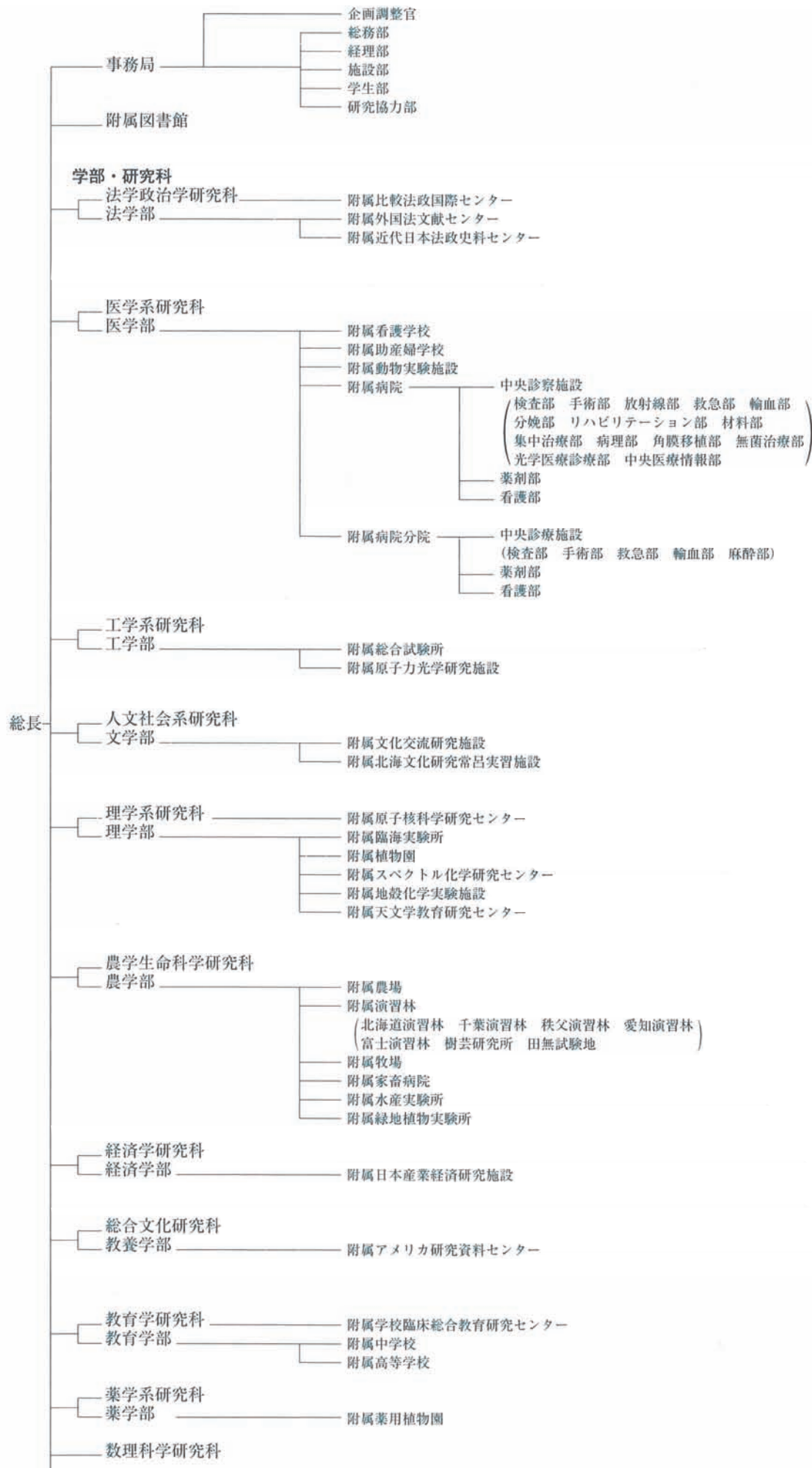
物性研究所長
軌道放射物性研究施設長
中性子散乱研究施設長
物質設計評価施設長
事務部長
総務課長
経理課長

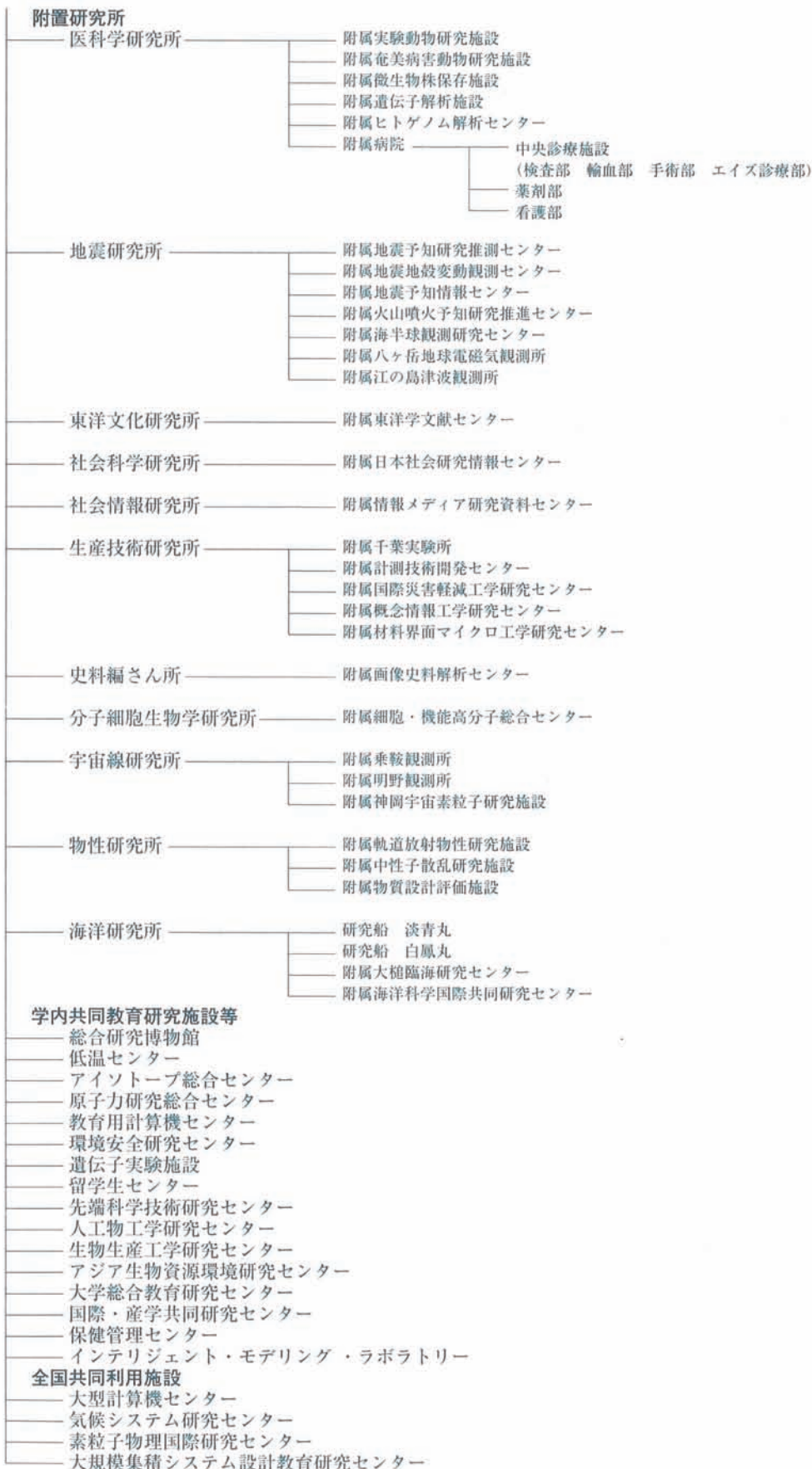
安 岡 弘 志
神 谷 幸 秀
藤 井 保 彦
高 山 一
朝日向 吉 晟
遠 藤 延 昌
田 中 新 太郎

海洋研究所

海洋研究所長
研究船淡青丸船長

平 林 啓 介
林 川 節 夫





学部	学科等数	学科等名	学科日数	学部附属施設
教養学部 (前期課程)			6	
法学部	3	第一類 (私法コース) 第二類 (公法コース) 第三類 (政治コース)	5	外国法文献センター 近代日本法政史料センター
医学部	2	医学科 健康科学・看護学科	27	看護学校 助産婦学校 動物実験施設 附属病院 附属病院分院
工学部	21	土木工学科 建築学科 都市工学科 機械工 学科 産業機械工学科 機械情報工学科 精密機械工学科 船舶海洋工学科 航空宇宙 工学科 電気工学科 電子情報工学科 電子 工学科 物理工学科 計数工学科 システム 量子工学科 地球システム工学科 金属工学 科 材料学科 応用化学科 化学システム工 学科 化学生命工学科	37	総合試験所 原子力工学研究施設
文学部	4	思想文化学科 歴史文化学科 言語文化学科 行動文化学科	25	文化交流研究施設 北海文化研究常呂実習施設
理学部	9	数学科 情報科学科 物理学科 天文学科 地球惑星物理学科 化学科 生物化学科 生 物学科 地学科	10	臨海実験所 植物園 スペクトル化学研究センター 地殻化学実験施設 天文学教育研究センター
農学部	5	応用生命科学課程 生物環境科学課程 生物 生産科学課程 地域経済・資源科学課程 獣 医学課程	18	農場 演習林 牧場 家畜病院 水産実験所 緑地植物実験所
経済学部	2	経済学科 経営学科	8	日本産業経済研究施設
教養学部 (後期課程)	6	超域文化科学科 地域文化研究学科 総合社 会科学科 基礎科学科 広域科学科 生命・ 認知科学科	6	アメリカ研究資料センター
教育学部	1	総合教育科学科	6	附属中学校 附属高等学校
薬学部	1	薬学科	3	薬用植物園
計	54		151	

備考 1. 寄付講座は別掲とする。

(平成9年度)

研究科	専攻数	専攻名	講座数	研究科附属施設
人文社会系研究科	5	基礎文化研究 日本文化研究 アジア文化研究 欧米系文化研究 社会文化研究	大 26 (7)	
教育学研究科	1	総合教育科学	大 6	学校臨床総合教育研究センター
法学政治学研究科	4	公法 民刑事法 基礎法学 政治	大 20 (4)	比較法政国際センター
経済学研究科	4	経済理論 現代経済 企業・市場 経済史	大 12 (8)	
総合文化研究科	5	言語情報科学 超域文化科学 地域文化研究 国際社会科学 広域科学	大 34 (5)	
理学系研究科	10	情報科学 物理学 天文学 地球惑星物理学 化学 生物化学 生物科学 地質学 鉱 物学 地理学	大 27 (15)	原子核科学研究センター
工学系研究科	24	社会基盤工学 建築学 都市工学 機械工 学 産業機械工学 機械情報工学 精密機械 工学 船舶海洋工学 航空宇宙工学 電気工 学 電子情報工学 電子工学 物理工学 計 数工学 システム量子工学 地球システム工 学 金属工学 材料学 応用化学 化学シス テム工学 化学生命工学 情報工学 超伝導 工学 先端学際工学	大 85 (26)	
農学生命科学研究科	11	生産・環境生物学 応用生命化学 森林科 学 水圏生物科学 農業・資源経済学 生 物・環境工学 生物材料科学 応用生命工 学 応用動物科学 農学国際 獣医学	大 31 (9)	
医学系研究科	11	分子細胞生物学 機能生物学 病因・病理 学 生体物理医学 脳神経医学 社会医 学 内科学 生殖・発達・加齢医学 外科学 健康科学・看護学 国際保健学	大 27 (6)	
薬学系研究科	3	分子薬学 機能化学 生命薬学	大 5 (4)	
数理科学研究科	1	数理科学	大 6	
計	79		大 279 (84)	

備考 1. () 書きは、協力講座を外数で示す。
2. 寄付講座は別掲とする。

(平成9年度)

研究所	設置目的	研究部門名	部門数	研究所附属研究施設
医科学研究所	感染症、がんその他の特定疾患に関する学理及びその応用の研究	細菌 細菌感染 免疫学 ウイルス ウイルス感染 寄生虫 アレルギー学 獣医学 制癌 癌細胞学 癌体質学 癌ウイルス 癌生物学 病理学 微細形態学 化学 細胞化学 生物物理学 細胞生物化学 分子生物学 細胞遺伝学 臓器移植生理学 感染症 癌病態学 病態薬理学 ☆遺伝子制御 ☆幹細胞シグナル分子制御 ☆細胞プロセッシング ☆造血因子探索	25 (☆4)	実験動物研究施設 奄美病害動物研究施設 微生物株保存施設 遺伝子解析施設 ヒトゲノム解析センター 附属病院
地震研究所 (全国共同利用研究所)	地震及び火山噴火の現象の解明及び予知並びにこれらによる災害の防止及び軽減に関する研究	地球流動破壊 地球ダイナミクス 地球計測 地震火山災害	4(4)	地震予知研究推進センター 地震地殻変動観測センター 地震予知情報センター 火山噴火予知研究推進センター 海半球観測研究センター 八ヶ岳地球電磁気観測所 江の島津波観測所
東洋文化研究所	東洋文化に関する総合研究	汎アジア 東アジア 南アジア 西アジア	4(4)	東洋学文献センター
社会科学研究所	社会科学に関する総合研究	比較現代法 比較現代政治 比較現代経済 比較現代社会	4(4)	日本社会研究情報センター
社会情報研究所	社会情報に関する総合研究	情報・メディア 情報行動 情報・社会	3(3)	情報メディア研究資料センター
生産技術研究所	生産に関する技術的問題の科学的総合研究並びに研究成果の実用化試験	応用数学 応用光学 応用超音波工学 放射線工学 材料強度機構学 動的 material 強弱学 流体物理学 伝熱工学 機械力学 流体機械学 熱原動機学 変形加工学 船体運動学 切削工作計画工学 精密工作学 化学機械学 耐震機械構造学 画像電子デバイス工学 電力工学 画像情報機器学 電力機器学 応用電子工学 マイクロ波工学 電子演算工学 情報処理工学 無機工業化学 有機工業化学 鉄鋼製錬工学 環境計測化学 工業物理化学 複合金属素材工学 環境化学工学 金属材料学 放射性同位元素工学 交通制御工学 建築生産学 水工学 建築構造学 土木構造学 地形情報処理工学 生産技術史 環境制御物理学 生産施設防災工学 ※高次協調モデリング	44	千葉実験所 計測技術開発センター 国際災害軽減工学研究センター 概念情報工学研究センター 材料界面マイクロ工学研究センター

研究所	設置目的	研究部門名	部門数	研究所附属研究施設
史料編さん所	本邦に関する史料の研究、編さん及び出版	古代史料 中世史料 近世史料 古文書・古記録 特殊史料	5 (5)	画像史料解析センター
分子細胞生物学研究所	分子細胞生物学に関する学理及びその応用の研究	細胞生物 分子生物 生体化学	3 (3)	細胞・機能高分子総合センター
宇宙線研究所 (全国共同利用研究所)	宇宙線の観測及び研究	超高エネルギー弱相互作用 ミュー ー中間子測定 宇宙線学 超高エ ネルギー強相互作用第一 超高エ ネルギー強相互作用第二 中間子 物理学実験	6	乗鞍観測所 明野観測所 神岡宇宙素粒子研究施設
物性研究所 (全国共同利用研究所)	物性に関する実験的研究及びこれに関連する理論的研究	新物質科学 物性理論 先端領域 極限環境物性 先端分光	5 (5)	軌道放射物性研究施設 中性子散乱研究施設 物質設計評価施設
海洋研究所 (全国共同利用研究所)	海洋に関する基礎的研究	海洋物理 海洋気象 海底物理 海底堆積 大洋底構造地質 海 洋無機化学 海洋生化学 海洋生 物生理 海洋生物生態 プランク トン 海洋微生物 資源解析 資 源生物 資源環境 漁業測定 海 洋分子生物学	16	研究船淡青丸 研究船白鳳丸 大槌臨海研究センター 海洋科学国際共同研究センター
計			119 (28) (☆4)	

備考 1. 「研究部門名」の※印は、客員研究部門である。 (平成9年度)
2. () 内の数は、大研究部門を内数で、
同☆印は、寄付研究部門を外数でそれぞれ示す。

学内共同教育研究施設等

教育研究施設	設置目的
総合研究博物館	学術標本を総合的に調査、収集、整理、保存し、それらの有効利用と、展示公開を行い、これらの主要業務を推進するに必要な研究を行いながら、積極的に教育研究に寄与する。
低温センター	低温施設を整備して、これを管理運営し、学内各部局研究者の共同利用に供するとともに、全学の極低温研究の推進に必要な研究開発を行う。
アイソトープ総合センター	アイソトープ関係の機器及び施設を学内各部局研究者の共同利用に供するとともに、アイソトープの管理及び同取扱者の教育訓練を行う。
原子力研究総合センター	施設を学内原子力関係の研究者の共同利用に供するとともに、その施設及び設備を利用する原子力研究の推進・調整を行う。
教育用計算機センター	施設を学内各部局の教育を主とする共同利用に供することを目的とし、必要に応じて高速計算機に関連する教育についての学部間及び大学院研究科間の連絡を行う。
環境安全研究センター	環境安全に関する研究を通じ、環境安全対策の立案、実施、教育を行う。
遺伝子実験施設	組換えDNA実験に関する研究、教育並びに組換えDNA実験の促進と安全の確保をはかる。
留学生センター	外国人留学生のために、日本語教育及び日本文化・日本事情に関する教育を行うとともに、外国人留学生の所属する部局等その他の機関の協力を得て、修学上及び生活上の必要な指導助言を行う。また、海外留学を希望する学生のために、指導助言を行い、その他留学生交流の促進に関し、適切な事項の処理を行う。
先端科学技術研究センター	学際性・流動性・国際性・公開性を基本としつつ、学内各部局との相互協力のもとに先端科学技術及びその関連分野の研究・教育を行う。
人工物工学研究センター	人工物工学に関する教育研究を行う。
生物生産工学研究センター	生物生産工学に関する教育研究を行う。
アジア生物資源環境研究センター	アジアの生物資源環境の評価と、持続的利用のための研究を行う。
大学総合教育研究センター	大学改革に関する基礎的調査・研究を行うとともに、東京大学における教育課程・方法の改善を支援する。
国際・産学共同研究センター	大学における研究成果を企業化に向け増幅するプロジェクト研究及び国際・産学共同研究全般の推進を行う。

(平成9年度)

教育研究施設	設置目的
保健管理センター	本学の保健に関する専門的業務を統一的に行い、もって学生及び教職員の健康保持、増進をはかるとともに、診療を行う。
インテリジェント・モデリング・ラボラトリー	大学院において、インテリジェント・モデリングによる人工物工学に関し、ベンチャー・ビジネスの萌芽ともなるべき独創的な研究開発を推進するとともに、高度の専門的職業能力を持つ創造的な人材を育成する。

(平成9年度)

全国共同利用施設

教育研究施設	設置目的
大型計算機センター	高速計算機を管理運営するとともにその整備をはかり、全国の研究者の研究のため共同利用に供する。
気候システム研究センター	気候モデルによる気候システムに関する研究を行い、全国の研究者の研究のため共同利用に供する。
素粒子物理国際研究センター	欧州原子核研究機構の電子・陽電子衝突型加速器による素粒子物理学に関する国際共同研究を行う。
大規模集積システム設計教育研究センター	大規模集積システムの設計及びその教育に関する実践的調査研究、情報の提供その他必要な専門的業務を行う。

(平成9年度)

総 長	1
副学長	<2>
教 授	1,323
助教授	1,225
講 師	140
助 手	1,379
教諭・養護教諭	36
小計	4,104
事務系職員	1,574
技術系職員	1,071
医療系職員	1,083
小計	3,728
総 計	7,832

(平成9年度)

備考 < >内数字は併任

学部

課程	学部	学部学生	学部研究生	学部聴講生	計
前期課程	教養	7,611(1,343) 67(11)			7,611(1,343) 67(11)
	法	1,842(295) 2		7	1,849(295) 2
後期課程	医	551(127)	131(56)		682(183)
	工	2,133(138) 36(2)	16(3) 3(1)	19(2) 1	2,168(143) 40(3)
	文	955(275) 3(3)	13(8)		968(283) 3(3)
	理	707(73) 3	6(2)	10(2)	723(77) 3
	農	662(151)	33(20) 3(1)	5(1) 1	700(172) 4(1)
	経済	934(114) 10(7)		5	939(114) 10(7)
	教養	452(122) 2(2)	14(6) 4(1)	25(13) 21(12)	491(141) 27(15)
	教育	219(69)	20(9)		239(78)
	薬	166(62)	17(3)	1	184(65)
	計	16,232(2,769) 123(25)	250(107) 10(3)	72(18) 23(12)	16,554(2,894) 156(40)

大学院

研究科	大学院学生		大学院研究生	計
	修士	博士		
人文社会系	407(153) 41(23)	505(190) 67(34)	100(61) 80(49)	1,011(404) 188(106)
教育学	119(55) 12(8)	147(86) 27(19)	24(14) 14(7)	290(155) 53(34)
法学政治学	197(64) 12(5)	81(22) 19(1)	28(6) 28(6)	306(92) 59(12)
経済学	170(34) 15(3)	154(31) 23(4)	11(3) 10(2)	335(68) 48(9)
総合文化	569(225) 57(33)	614(217) 126(60)	92(35) 64(25)	1,275(477) 247(118)
理学系	831(143) 27(10)	819(136) 59(12)	45(7) 22(4)	1,695(286) 108(26)
工学系	1,825(140) 126(32)	1,099(114) 389(53)	103(19) 77(14)	3,027(273) 592(99)
農学生命科学	552(139) 33(10)	539(125) 124(35)	22(10) 17(9)	1,113(274) 174(54)
医学系	92(66) 6(6)	786(224) 100(45)	43(27) 31(18)	921(317) 137(69)
薬学系	173(60) 3(2)	144(31) 15(6)	9(4) 4(2)	326(95) 22(10)
数理科学	112(5) 6(0)	104(11) 14(5)	24(2) 4(0)	240(18) 24(5)
計	5,047(1,084) 338(132)	4,991(1,187) 963(274)	501(188) 351(136)	10,539(2,459) 1,652(542)

(平成9年度5月1日現在)

研究所研究生

研究所	研究所研究生	計
医科学研究所	42(4)	42(2)
地震研究所	8(3) 4(3)	8(3) 4(3)
社会情報研究所	125(35)	125(3)
生産技術研究所	22(4) 14(3)	22(4) 14(3)
分子細胞生物学研究所	4(1)	4(1)
物性研究所	4	4
海洋研究所	6(2) 1	6(2) 1
先端科学技術研究センター	1	1
計	212(49) 19(6)	212(49) 19(6)

	学生	研究生	聴講生	総計
合計	26,270(5,040)	963(344)	72(18)	27,305(5,400)
	1,424(431)	380(145)	23(12)	1,827(588)

(平成9年5月1日現在)

備考 本表の上段は総数を示し、下段は外国人留学生を、()は女子学生をそれぞれ内数で示す。

学部

科類	定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	特別選考入学者数				入学者総数
						第1種	第2種	国費外国人 留学生	外国政府派遣 留学生	
文科一類	645	3,071	2,059	646	645	1	6	2		654
文科二類	385	1,670	1,223	385	385	2	5	4		396
文科三類	500	2,696	1,589	505	501		6	2		509
理科一類	1,295	5,303	3,510	1,313	1,307	4	4	12	3	1,330
理科二類	561	2,567	1,998	572	564		3			567
理科三類	90	573	363	91	91		2			93
合計	3,476	15,880	10,742	3,512	3,493	7	26	20	3	3,549

(平成9年5月1日現在)

- 備考 1. 「志願者数」、「受験者数」、「合格者数」及び「入学者数」には特別選考の数は含まない。
 2. 特別選考入学者数の「第1種」及び「第2種」は、外国の学校を卒業した外国人及び日本人を対象とした選抜により入学した者で、次の分類による。
 第1種 外国人であって日本の永住許可を得ていない者
 第2種 日本人及び第1種以外の外国人

修士課程

研究科	入学定員	志願者数			入学者数			
		本学	他大学	計	本学	他大学	計	
人文社会系	(若干名)188	177	379	(13)(24)556	100	54	(1)(1)154	
教育学	42	54	142	(15)196	26	26	52	
法学政治学	(約40)143	89	292	(85)381	35	61	(38)96	
経済学	108	42	149	(17)191	31	38	(5)69	
総合文化	(約20)248	170	774	(132)944	102	160	(20)262	
理学系	465	276	651	(12)927	218	178	(1)396	
工学系	666	866	828	(2)1,694	694	176	870	
農学生命科学	農学 (若干名)281	201	274	(2)475	150	127	(1)277	
	獣医学	-	-	-	-	-	-	
	医学	-	-	-	-	-	-	
医学系	保健学	46	36	83	(31)119	20	22	(1)42
	薬学系	(8)81	84	31	115	70	11	81
数理科学	53	47	[1]73	[1]120	30	18	48	
計	2,321	2,042	[1]3,676	[1](103)(232)5,718	1,476	871	(8)(60)2,347	

(平成9年5月1日現在)

博士課程

研究科	入学定員	志願者数			入学者数			
		本学	他大学	計	本学	他大学	計	
人文社会系	104	143	(1)55	(1)198	100	(1)11	(1)111	
教育学	27	42	11	(2)53	34	3	37	
法学政治学	60	35	21	56	20	1	21	
経済学	54	48	54	(1)102	41	4	(1)45	
総合文化	(約14)164	164	128	(28)292	138	33	(5)171	
理学系	(19)237	240	43	(3)283	231	20	(3)251	
工学系	347	(1)228	107	(21)(1)335	(1)200	77	(4)(1)277	
農学生命科学	農学 (若干名)116	106	(3)39	(6)(3)145	105	(3)38	(6)(3)143	
	獣医学 (若干名)13	15	21	36	15	14	29	
医学系	医学	192	95	166	(149)261	88	124	(12)212
	保健学	21	26	18	(8)44	24	4	28
薬学系	(4)36	37	10	47	37	5	42	
数理科学	32	34	14	(6)48	24	11	(5)35	
計	1,403	(1)1,213	(4)687	(5)(187)(37)1,900	(1)1,057	(4)345	(5)(22)(14)1,402	

(平成9年5月1日現在)

- 備考 1. 農学生命科学研究科の「農学」は同研究科の獣医学専攻を除く全専攻を、「獣医学」は獣医学専攻を示す。
2. また、医学系研究科の「医学」は健康科学・看護学専攻及び国際保健学専攻を除く全専攻を、「保健学」は健康科学・看護学専攻及び国際保健学専攻を示す。
3. ()内は、修士の学位を有しない者(大学を卒業後、大学、研究所等において2年以上の研究歴を有する者)の状況を内数で示す。
4. []内は、本学の学部3年次からの状況を内数で示す。
5. < >内は、社会人特別選抜の状況を内数で示す。
6. ()内は、社会人受入状況を内数で示す。

1. 平成10年度選抜方式・実施期日

本学は「分離分割方式」(前期日程・後期日程)により、第2次学力試験を実施する。試験実施期日はそれぞれ次のとおりである。

前期日程	平成10年2月25日(水)・26日(木)
後期日程	平成10年3月13日(金)・14日(土)

2. 募集人員

平成10年度において、教養学部に入学を許可する学生の募集人員は、次のとおりである。

文科一類	645人	前期日程	580人	後期日程	65人
文科二類	385人	前期日程	345人	後期日程	40人
文科三類	500人	前期日程	445人	後期日程	55人
理科一類	1,295人	前期日程	1,158人	後期日程	137人
理科二類	561人	前期日程	501人	後期日程	60人
理科三類	90人	前期日程	80人	後期日程	10人
計	3,476人	前期日程	3,109人	後期日程	367人

3. 出願期間

前期日程及び後期日程とも下記期間とする。

平成10年1月26日(月)～平成10年2月4日(水)

4. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力試験(大学入試センター試験及び第2次学力試験)、調査書及び健康診断による。ただし、入学志願者が募集人員を大幅に上回り、第2次学力試験を適切に実施することが困難な場合は、大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者に対して第2次学力試験を行う。

5. 進学振分け制度

本学では、リベラルアーツ教育の理念に基づき、入学後2年間は、前期課程(教養学部)での学修が義務付けられ、この課程が終了した時点で本人の希望及び成績により専門教育の課程である学部に進学する進学振分け制度が実施されている。各科類毎の進学学部は、教養学部後期課程への進学を除いて、原則として次のとおりである。

文科一類	： 法学部	理科一類	： 工学部・理学部・薬学部・農学部
文科二類	： 経済学部	理科二類	： 農学部・理学部・薬学部・医学部・工学部
文科三類	： 文学部・教育学部	理科三類	： 医学部医学科

教養学部後期課程には、原則として文科・理科の各類から進学することができる。

研究科	課程	出願時期	筆記及び口述 試験時期	試験方法		社会人特別 選抜の有無	外国人特別 選考の有無
				筆記論文又は口述			
人文社会系	修士	11月中旬	1月下旬及び2月上旬	○	○	○	○
	博士	12月中旬	2月上旬	-	○	△	○
教育学	修士	12月上旬	2月中旬	○	○	△	○
	博士	1月上旬	2月中旬～下旬	○	○	△	○
法学政治学	修士	7月下旬	9月上旬及び10月下旬	○	○	○	○
	博士	1月上旬	3月上旬	-	○	△	-
経済学	修士	8月下旬	9月上旬及び下旬	○	○	△	○
	博士	1月下旬	3月上旬	-	○	△	-
総合文化	修士	12月上旬 (7月上旬)	1月下旬及び2月中旬 (8月下旬及び9月上旬)	○	○	○	○
	博士	1月上旬	2月中旬	-	○	○	○
理学系	修士	7月下旬 (6月下旬及び12月中旬)	8月下旬～9月中旬 (7月下旬～9月上旬及び 1月下旬～2月中旬)	○	○	-	○
	博士	1月上旬～中旬 (6月下旬及び12月中旬)	2月上旬～下旬 (7月下旬～9月上旬及び 1月下旬～2月中旬)	○	○	○	○
工学系	修士	7月下旬	9月上旬	○	○	-	○
	博士	7月下旬	9月上旬及び2月下旬	○	○	△	○
農学生命科学	修士	7月下旬	8月下旬	○	○	○	○
	博士	2月中旬 (7月下旬)	3月上旬 (8月下旬)	○	○	○	○
医学系	修士	7月上旬	8月下旬	○	○	△	○
	博士	9月上旬 (1月上旬)	10月中旬 (2月上旬)	○	○	△	○
薬学系	修士	7月上旬	9月上旬 (1月下旬)	○	○	○	○
	博士	1月中旬	2月上旬	○	○	○	○
数理科学	修士	7月下旬	9月上旬	○	○	△	○
	博士	1月中旬	2月中旬	○	○	△	○

- 備考 1. 総合文化研究科の () 書きは、広域科学専攻を示す。 (平成9年度入学者)
 2. 理学系研究科の () 書きは、外国人特別選考を示す。
 3. 農学生命科学研究科の () 書きは、獣医学専攻及び社会人特別選抜を示す。
 4. 医学系研究科の () 書きは、健康科学・看護学専攻及び国際保健学専攻を示す。
 5. 薬学系研究科の () 書きは、社会人特別選抜を示す。
 6. 数理科学研究科はこの他に「大学3年次に在学する者に係る特別選抜」を実施している。
 7. 社会人特別選抜欄の○については、一部の専攻において実施している研究科も含む。
 8. 社会人特別選抜欄の△については、特別選抜は実施していないが、社会人を受入れている。

学部卒業者数

	学士 (旧制)	学士 (新制)		
		専攻分野	平成8年度	累計
法学士	29,148	法 学	718	27,572
法律学士	58	医 学	101	4,213
医学士	7,258	保健衛生学	58	1,257
製薬士	34	工 学	992	32,675
薬学士	1,290	文 学	373	12,600
工学士	18,398	理 学	309	9,568
文学士	11,126	農 学	220	9,128
理学士	4,626	獣 医 学	29	219
農学士	7,438	経 済 学	430	15,070
農芸化学士	12	教 養	177	5,376
林学士	517	教 育 学	88	3,004
獣医学士	268	薬 学	81	2,618
水産学士	57			
経済学士	11,201			
准医学士	6			
司法省法学校卒業生	4			
工部大学校卒業生	9			
農科大学卒業生	3			
計	91,453	計	3,576	123,300

(平成9年3月31日現在)

大学院修了者数

専攻分野	修士		専攻分野	博士	
	平成8年度	累計		平成8年度	累計
文 学	109	4,193	文 学	24	156
心 理 学	4	19	心 理 学	1	9
社 会 学	15	477	社 会 学	5	42
社会心理学	5	21	社会心理学	0	4
教 育 学	40	1,353	教 育 学	6	58
法 学	108	900	法 学	3	166
経 済 学	52	797	経 済 学	7	111
学 術	200	1,135	学 術 * 1	30	105
理 学 * 1	0	32	理 学 * 1	1	14
理 学 * 2	378	8,519	理 学 * 2	188	3,615
工 学	821	15,853	工 学	231	4,134
農 学	224	4,198	学 術 * 2	4	19
保 健 学	47	619	農 学	95	1,913
薬 学	73	1,771	獣 医 学	20	73
数 理 科学	39	207	医 学	92	1,352
			保 健 学	17	188
			薬 学	40	870
			数 理 科学	27	90
計	2,115	40,094	計	791	12,919

(平成9年3月31日現在)

- 備考 1. 衛生看護学士については「保健衛生学」に、国際学修士については「学術」にそれぞれ含む。
 2. 「大学院修了者数」の専攻分野中「学術*1」及び「理学*1」は総合文化研究科、「学術*2」は工学系研究科、「理学*2」は理学系研究科における授与である。

論文提出による博士学位取得者数

	旧制	新制		累計
		専攻分野	平成8年度	
文学博士	289	文学	18	249
法学博士	157	心理学	1	5
経済学博士	63	教育学	6	79
理学博士	1,402	法学	6	47
工学博士	1,916	社会学	1	34
農学博士	1,112	社会心理学	0	1
薬学博士	571	経済学	5	159
医学博士	5,672	学術	6	40
		理学	45	1,655
		工学	181	4,306
		農学	71	2,542
		獣医学	5	46
		医学	105	2,928
		保健学	7	111
		薬学	37	1,079
		数理科学	3	33
計	11,182	計	497	13,314

区分	学部	法	医		工	文	理	農		経済	教養	教育	薬	計
			医学	保健				農学	獣医					
平成8年度卒業生		718 (93)	101 (11)	58 (35)	992 (50)	373 (122)	309 (38)	220 (37)	29 (8)	430 (40)	177 (40)	88 (30)	81 (29)	3,576 (533)
進学者数	大学院	23 (3)	7	16 (11)	705 (38)	110 (38)	254 (34)	134 (26)	17 (5)	29 (8)	76 (14)	27 (12)	66 (23)	1,464 (212)
	学部	3 (1)		3 (2)		7 (2)	5 (2)	3		12 (1)	1 (1)			34 (9)
	計	26 (4)	7	19 (13)	705 (38)	117 (40)	259 (36)	137 (26)	17 (5)	41 (9)	77 (15)	27 (12)	66 (23)	1,498 (221)
就業者数	農業													
	林業													
	漁業													
	鉱業	1			2	2								5
	建設業	2			22 (1)	2		3		2	1			32 (1)
	製造業	50 (4)		2	101 (3)	75 (17)	8 (1)	14 (3)	6 (1)	55 (5)	13 (1)	9 (5)	4 (3)	337 (43)
	電気・ガス・ 熱供給・水道業	13 (1)			15 (1)	2 (1)				15	1 (1)	1		47 (4)
	運輸・通信業	25 (3)		5 (3)	33	11 (3)	1	3		21 (3)	10 (4)	3 (1)		112 (17)
	卸売・小売業 ・飲食店	16 (2)			2	12 (4)	2	8 (1)	1	34 (3)	1			76 (10)
	金融・保険業	114 (11)		1	25	24 (5)	7	19		163 (8)	19 (6)	8 (3)		380 (33)
	不動産業	2								5				7
	サービス業	37 (10)		21 (11)	22 (3)	51 (16)	11 (1)	8 (3)	2	29 (5)	22 (9)	6 (3)		209 (61)
	公務	211 (27)	1		21 (2)	16 (6)	2	9 (2)	3 (2)	31	7	8 (3)		309 (42)
その他	27 (4)		1	20 (1)	1		2 (1)			2	7 (2)		60 (8)	
小計	498 (62)	1	30 (14)	263 (11)	196 (52)	31 (2)	66 (10)	12 (3)	355 (24)	76 (21)	42 (17)	4 (3)	1,574 (219)	
臨床研修医			84 (11)										84 (11)	
無業者	194 (27)	9	3 (2)	17 (1)	47 (26)	15	17 (1)			2	19 (1)	11 (3)	334 (61)	
その他			6 (6)	7	13 (4)	4			34 (7)	22 (4)			86 (21)	
合計	718 (93)	101 (11)	58 (35)	992 (50)	373 (122)	309 (38)	220 (37)	29 (8)	430 (40)	177 (40)	88 (30)	81 (29)	3,576 (533)	

備考 ()は女子学生を内数で示す。

(平成9年5月1日現在)

研究科		人文社会系		教育学		法学政治学		経済学		総合文化		理学系		工学系		農学生命科学			医学系			薬学系		数理科学		計		
課程		修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	
平成8年度		(56)		(29)		(14)				(44)		(48)		(54)		(8) (1)			(18) (17)		(1)		(3)		(293)			
修了者		133	30	40	6	108	3	52	7	200	31	378	188	821	235	224	95	20	47	92	17	73	40	39	27	2115	791	
進学者数	本学	95	32	21	40	128	231	1	214	113		28		39	19	960	1											
	他大学	1	1	4	1	1	5	2	1	1		1							1				2		18	2		
計		96	33	25	41	129	236	3	215	114		29		39	21	978	3											
就業者	大学教員	国公立	(13)		(5)		(2)		(4)		(9)		(7)		(3)		(1)			(3)				(47)				
		私立	8	4	3	1	2	7	31	1	24	6	2	3	10	2	2	2	4	9	103							
	研究機関	国公立	(4)		(4)		(3)		(5)		(4)		(3)		(1) (1)									(25)				
		民間	8		1	1	3	8	5	14	14	5	9	1	3	1	1	2	3	3	21	87						
職	企業	研究者	(1)		(3)		(2)		(9)		(8)													(1)		(24)		
		技術者	2	1	2		14	76	18	491	47	68	7	3	3	2	23	14	12	2	688	97						
		事務	6	1	3	33	5	31	3	10	15				1	1	1											
者	医療機関	国公立													(5) (1)									(6)				
		民間													3			27		1		1		1		31		
数	公務(事務)	国公立	(1)		(1)				(2)		(9)		(8)											(1)		(24)		
		民間	1		16	2	4	24	1	6					1				2	56	1							
	高校教員	国公立													(1)											(1)		
		民間	1				1	1																				
その他	国公立							(2)		(3)															(5)			
	民間	1	2	6		12	1			2	13	6		1	7	3												
計		(19)	(13)	(3)	(8)	(20)	(37)	(20)	(2)	(9)	(12)			(1)	(144)													
計		8	20	6	6	65	2	8	5	27	14	126	97	550	132	102	39	6	14	64	7	30	20	14	8	950	420	
その	学振特別研究員(PDF)	国公立	(20)		(5)		(4)		(3)		(4)		(1)													(37)		
		民間	1				2	63	11	4	4	10	3	10	3	111												
	学部再入学	国公立	(4)		(2)		(4)		(4)		(3)		(4)		(2)			(1)								(24)		
		民間	16	1	1	1	4	4	6	16	28	1	3	2	2	1	10	3	2	10	35	63						
その他	国公立			(1)		(1)		(2)		(16)		(29)		(7)			(2)								(60)			
	民間			18	2	2	40	11	1	3	56	64	2	2	16	6	2	2	6	119	114							
他	無業	国公立	(13)		(10)		(4)		(8)		(6) (1)			(2) (1)										(45)				
		民間	13	9			9	6	8	49	8	1	1	2	7	33	80											
計		(37)	(16)	(11)	(9)	(24)	(11)	(34)	(6)	(1)	(9)	(5)	(1)	(2)	(166)													
計		29	10	1	18	1	3	2	44	17	16	88	56	103	8	56	14	4	28	10	4	20	4	19	187	368		

備考 1. 修了者数には、退学後論文を提出して学位を授与された者を含む。 (平成9年5月1日現在)
 2. ()内は、博士課程を満期退学した者の数を外数で示す。
 3. 外国への留学については、「その他」の「その他」に含む。

研究指導の受・委託学生数

研究科	委託学生数										受託学生数（特別研究学生）									
	国内の研究教育機関										外国の教育研究機関									
	大 学			研究所等			計				国内の大学院学生			外国の大学院学生						
	国立	公立	私立	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士	修士	博士			
人文社会系研究科				1		1				2										
経済学研究科								3		3										
総合文化研究科					1	3			1	3	3	1					3	1		
理学系研究科	14		1		4	32		1	5	47	8	16						8	16	
工学系研究科			2	1	1	1		4	3	6	2	4						2	4	
農学生命科学研究科	1	4		1	4	7		6	5	18	1	4		7			1	8	5	
医学系研究科	9		1		10	21		18		59	34		3		5				42	
薬学系研究科	1	2				3		2	1	7		1			1	2		2	1	5
数理学研究科	1	2						1	1	3										
計	3	31		1	3	13	10	68	35	16	148	14	60		3	8	7	3	22	73

(平成8年度)

単位互換制度に基づく交流学生数

本学研究科	協定締結大学院 他大学大学院	交流学生数				
		派遣		受入		
		修士	博士	修士	博士	
人文社会系研究科	お茶の水女子大学大学院 人文科学研究科			2	8	
教育学研究科	お茶の水女子大学大学院 人文科学研究科 人間文化研究科		2	2	13	
				1		4
経済学研究科	一橋大学大学院 経済学研究科			2	9	6
理学系研究科	東京工業大学大学院 理工学研究科 総合理工学研究科		19		22	
			1		2	
数理学研究科	お茶の水女子大学大学院 理学研究科		10	4	20	
	東京工業大学大学院 理工学研究科 情報理工学研究科		2		4	
					1	
	お茶の水女子大学大学院 理学研究科		6		8	
計		40	11	87	10	

(平成8年度)

備考： 上記交流学生数は、前期（4月～9月）及び後期（10月～3月）に、派遣あるいは受入を行った延べ人数を表したものである。

教育学部附属中学校

学年別	学級数	1学級当たり定員	入学定員	在学者数	
				男	女
1年	3	40	120	60	60
2年	3	40	120	60	60
3年	3	40	120	59	60
計	9		360	179	180

(平成9年5月1日現在)

教育学部附属高等学校

学年別	学級数	1学級当たり定員	入学定員	在学者数	
				男	女
1年	3	40	120	51	59
2年	3	40	120	63	58
3年	3	40	120	55	58
計	9		360	169	175

備考：高等学校は中学校から連絡進学させる。

(平成9年5月1日現在)

医学部附属看護学校

学年別	入学定員	在学者数
1年	50	45
2年	50	46
3年	50	32
計	150	123

(平成9年5月1日現在)

医学部附属助産婦学校

学年別	入学定員	在学者数
1年	20	16

(平成9年5月1日現在)

協定締結状況

国名	大学間協定 (学術・学生)	締結年	大学間協定 (学生交流)	締結年	部局間協定	締結年	締結部局
インド			デリー大学	1980年			
タイ	チュラロンコン大学 タマサート大学 マヒドン大学	1985年 1987年 1997年			カセサート大学経済学部 タマサート大学国際工学部 チュラロンコン大学工学部・理学部	1995年 1995年 1995年	東文研 工学系 工学系
マレーシア					マラヤ大学*	1995年	教養学部
シンガポール					シンガポール国立大学工学部 シンガポール大学社会学科	1993年 1997年	生産研 東文研
インドネシア					ボゴール農科大学 バンドン工科大学生産工学部 ガジャマダ大学* インドネシア大学日本研究センター	1988年 1991年 1995年 1997年	農学部 生産研 教養学部 社研
フィリピン	フィリピン大学	1990年			フィリピン大学*	1995年	教養学部
香港					香港大学アジア研究センター	1995年	東文研
韓国	ソウル大学校	1990年			釜山大学校機械技術研究所 延世大学工学部 ソウル大学校*	1995年 1995年 1995年	生産研 工学系 教養学部
ヴェトナム					ハノイ農科大学	1995年	農学部
中国	清華大学 北京大学 中国社会科学院 復旦大学 中国科学技術大学	1985年 1985年 1985年 1991年 1993年			北京林学院 (北京林業大学) 大連工学院 (大連理工大学) 中国科学院高能物理研究所 蘭州大学材料科学技術研究所 上海交通大学研究生院 北京大学* 東北林業大学 浙江大学工学系学科群 瀋陽薬科大学 中南工業大学	1984年 1987年 1995年 1995年 1995年 1995年 1995年 1996年 1997年 1997年 (1997)	農学部 生産研 宇宙線 生産研 工学系 教養学部 農学生命 工学系 薬学系 工学系
イラン	地球科学研究所 テヘラン大学	1995年 1997年					
イスラエル	ワイツマン研究所	1993年					
エジプト					カイロ大学工学部	1993年	生産研
オーストラリア	シドニー大学	1994年			アデレード大学物理数学部 シドニー大学* モナシュ大学* クイーンズランド大学	1995年 1995年 1995年 1997年	宇宙線 教養学部 教養学部 農学生命
ニュージーランド	マッセイ大学 オタゴ大学	1995年 1996年			カンタベリー大学工学部 オークランド大学* オタゴ大学*	1995年 1995年 1995年	工学部 教養学部 教養学部
カナダ			プリンスエドワード大学	1978年	プリンスエドワード大学	1993年	経済学
アメリカ合衆国	イリノイ大学 アリゾナ大学 カリフォルニア大学サン・ディエゴ校 メリーランド大学 シカゴ大学 ワシントン大学 (シアトル) ジョンズ・ホプキンス大学	1984年 1987年 1988年 1990年 1991年 1992年 1996年	マサチューセッツ工科大学 ハーバード大学 スタンフォード大学 プリンストン大学 カリフォルニア大学バークレー校	1976年 1978年 1978年 1978年 1978年	ワシントン大学工学部 (シアトル) ウッズホール海洋研究所 カリフォルニア大学 ハワイ大学海洋・地球理工学部 ペンシルヴァニア大学ウォートン スケール及び大学院経済学研科 ハワイ大学社会科学部 ウッズホール海洋研究所 ハワイ大学マノア校理学部 ユタ大学理学部 カリフォルニア大学アーバイン校物理科学部 ボストン大学大学院文理学研科 ミシガン大学* ワシントン大学工学部 (セントレイス) ペンシルベニア大学大学院教育学研科 ハワイ大学マノア校工学部 カリフォルニア大学* スウァースモア大学* ワシントン大学先端知的基研センター	1985年 1989年 1991年 1991年 1992年 1993年 1994年 1995年 1995年 1995年 1995年 1995年 1996年 1996年 1996年 1996年 1997年 1997年	工学部 海洋研 工学部 海洋研 経済学 文学部 地震研 宇宙線 宇宙線 宇宙線 宇宙線 宇宙線 教養学部 生産研 教育学 生産研 教養学部 教養学部 先端研

国名	大学間協定 (学術・学生)	締結年	大学間協定 (学生交流)	締結年	部局間協定	締結年	締結部局
ブラジル	サンパウロ大学	1980年					
アルゼンチン					ラ・プラタ大学	1990年	農学部
チリ					チリ・カトリック大学*	1996年	教養学部
フィンランド	ヘルシンキ工科大学	1996年					
スウェーデン	ストックホルム大学及びストックホルム王立工科大学	1979年					
ノルウェー	ノルウェー大学連合 <small>オスロ、ベルゲン、トロンヘイム、ボドョ</small>	1992年					
イギリス	ロンドン経済・金融大学 (ロンドン大学) オックスフォード大学 ストラスカイド大学 ウォリック大学 ケンブリッジ大学	1988年 1994年 1996年 1996年 1997年	エセックス大学 オックスフォード大学	1972年 1980年	ロンドン大学エコーン・シティカレッジ インペリアルカレッジ オブ サイエンス テクノロジィ エンド デザイン ロンドン大学エコーン・シティカレッジ物理工学部 サウザンプトン大学理工学部 ウォリック大学* パーミンガム大学金属材料科学科 高機能応用材料科学研究センター	1978年 1992年 1995年 1996年 1997年	工学系 生産研 地震研 生産研 教養学部 先端研
オランダ	レイデン大学	1987年					
ドイツ	ポッフム・ルール大学 チュービンゲン大学 マルブルク・フィリップス大学 ベルリン自由大学 ベルリン・フンボルト大学	1969年 1987年 1987年 1992年 1996年	シュツットガルト大学	1977年	マックスプランク組織物理学研究所 シュツットガルト大学材料研究所	1997年 (1997)	先端研 先端研
フランス	ピエール・エ・マリ・キュリー大学 (パリ第6大学) ルイ・バスタードール大学 (ストラスブール第1大学) ルネ・デカルト大学 (パリ第5大学) エコール・ノルマル・スーペリエール エコール・ポリテクニーク フランス科学研究庁 パリ第8大学	1982年 1989年 1990年 1993年 1994年 1996年	ロレーヌ国立総合工科大学	1975年	パリ地球物理研究所 エコール・セントラル・パリ ベルギー大学応用複合領域研究所 パリ・グリニョン国立農学院	1986年 1993年 1994年 1996年	地震研 工学部 先端研 農学部
スペイン	マドリッド・ラ・コンプレテンセ大学	1986年			マドリッド工科大学	1993年	生産研
イタリア	ローマ大学 [ラ・サピエンツァ] ミラノ大学 パドヴァ大学	1988年 1992年 1993年			フィレンツェ大学公衆衛生 ・疫学・環境計測化学科	1997年	先端研
オーストリア	ウィーン工科大学	1981年	ウィーン工科大学	1981年	ウィーン大学理学部	(1997)	先端研
スイス	ジュネーヴ大学	(1997)	ローザンヌ連邦工科大学	1976年	サン・ガレン大学	1995年	社研
ポーランド	ワルシャワ大学	1978年					
ハンガリー					ヴェスプレム大学工学部	1996年	生産研
ロシア					モスクワ工学物理大学	1993年	工学部
	欧州原子核研究機構(CERN) マサチューセッツ工科大学、 スイス連邦工科大学(AGS)	1988年 1996年					
合計	22か国	54機関	8か国	13機関	25か国	73機関	
延べ	34か国			140機関			

注：締結年の()書きは、1997年中に調印予定。

(平成9年5月1日現在)

*印は、短期交換留学協定(AIKOM)

地域	国名又は地域名	学部学生	大学院学生		計
			修士	博士	
アジア	インド		1	1	2
	ネパール	1			1
	ミャンマー		1		1
	タイ	1		1	2
	インドネシア		1		1
	フィリピン	1		1	2
	韓国	1		5	6
	ベトナム			5	5
中近東	中台	5	1	8	14
	台湾			1	1
中近東	イスラエル			1	1
	イスラエル			2	2
アフリカ	エジプト			1	1
	ケニア	1			1
	モロッコ			1	1
オセアニア	オーストラリア	4		1	5
	ニュージーランド	3	1	1	5
北米	カナダ	2		1	3
	アメリカ合衆国	15	16	62	93
中南米	メキシコ			1	1
	アルゼンチン			1	1
	チリ	2			2
ヨーロッパ	スウェーデン		2	1	3
	アイルランド			2	2
	イギリス	7	4	17	28
	ベルギー		1		1
	ドイツ	1	1	26	28
	フランス	3	5	33	41
	イタリア			2	2
	ギリシャ			2	2
	オーストリア		2	7	9
	スイス		1	2	3
	旧ユーゴスラビア		1		1
	ルーマニア			1	1
	ブルガリア			1	1
	ロシア			3	3
計	35か国1地域	47	38	191	276

(平成9年5月1日現在)

地域	国名又は地域名	学部学生	学部研究生等	大学院学生		大学院研究生等	研究所研究生	計	
				修士	博士				
	バキスタン			1	4	2		7	
	インド			2	8	5		15	
	ネパール			1	7	1		9	
	Bangladesh	2		3	19	2		26	
	スリランカ			8	10			18	
ア	ミャンマー			1	6	1		8	
	タイ	11		19	16	11		57	
	マレーシア	14		6	3	1		24	
ジ	シンガポール	26		3		1		30	
	インドネシア	20	1	13	18	2		54	
	フィリピン		1	1	7	2		11	
	香港	3		3	5	1		12	
ア	韓国	6	7	90	296	81	7	487	
	モンゴル	4		1	1			6	
	ベトナム	5		2	6	2	1	16	
	中国	23	6	105	367	125	10	636	
	台湾			35	58	24		117	
	小計	114	15	294	831	261	18	1,533	
	中	イラン			2	11	1		14
		イラク		1					1
		トルコ				6	3		9
		レバノン			1				1
シリア					1			1	
東	イスラエル				1	2		3	
	小計		1	3	19	6		29	
	エジプト			1	8	1		10	
ア	スーダン			1				1	
	チュニジア				1			1	
	タンザニア				1			1	
	ザイール			1				1	
	ナイジェリア			1	1			2	
	ガーナ				3			3	
	象牙海岸			1				1	
	モロッコ				1			1	
	セネガル			1				1	
	エチオピア			1	1			2	
小計			7	16	1		24		
オセアニア	オーストラリア	4	4	4	5	4		21	
	ニュージーランド		2					2	
	小計	4	6	4	5	4		23	
北	カナダ			2	3	4		9	
	アメリカ合衆国		7	6	15	24		52	
米	小計		7	8	18	28		61	

地域	国名又は地域名	学部学生	学部研究生等	大学院学生		大学院研究生等	研究所研究生	計	
				修士	博士				
中	メキシコ			1	1	1		3	
	コスタリカ				1			1	
	キューバ					1		1	
	ブラジル	2		4	10	2		18	
	パラグアイ					1		1	
	ウルグアイ				1			1	
	アルゼンチン	1			5	2		8	
	チリ			1				1	
	ボリビア			1	1			2	
	ペルー				1			1	
米	コロンビア			2				2	
	ベネズエラ			1				1	
	ジャマイカ			1				1	
	小計	3	1	10	20	7		41	
	ヨ	フィンランド					3		3
		スウェーデン					2		2
		ノルウェー					1		1
		デンマーク					1	1	2
		イギリス		2		1	6		9
		ベルギー					2		2
オランダ						2		2	
ドイツ				2	8	6	1	17	
フランス				3	2	4		9	
スペイン				1	3	3		7	
ロ	イタリア			2	8	2		12	
	ギリシャ				1			1	
	オーストリア					1	3	4	
	スイス			1	2	2		5	
	ポーランド					5	2	7	
	チェコ			1				1	
	スロバキア					2		2	
	ハンガリー	1				5	2	8	
	ルーマニア			1	4			5	
	ブルガリア			2	1	1		4	
バ	アルバニア				1	2		3	
	エストニア					1		1	
	NIS(旧ソ連)	1			3	4		8	
	ラトビア				1			1	
	ウクライナ						2	2	
	マケドニア						1	1	
	小計	2	3	12	54	47	1	119	
計(74カ国2地域)	123	33	338	963	354	19	1,830		

(平成9年5月1日現在)

注)「大学院研究生等」には、特別研究学生1名、特別聴講学生2名を含む。

経費負担別区分	文部省	事業	日本学術振興会	国際協力事業団	基金	国際交流	その他の政府資金	国内資金	外国政府	関等	私費	計
部局名												
大学院法学政治学研究科・法学部	7		1		5		1	13	8		1	36
大学院医学系研究科・医学部	19		14				1	5	7		60	106
大学院工学系研究科・工学部	25		80	3				62	35		33	238
大学院人文社会系研究科・文学部	14		1		5		9		4		6	39
大学院理学系研究科・理学部	45		23					26	7		2	103
大学院農学生命科学研究科・農学部	24		13	3					4		37	81
大学院経済学研究科・経済学部	5				3		3		7		3	21
大学院総合文化研究科・教養学部	96		32		10		2	5	17		21	183
大学院教育学研究科・教育学部			1						3		1	5
大学院薬学系研究科・薬学部	1		6				1	1			2	11
大学院数理科学研究科	2		4					1	1			8
医科学研究所	10		4								9	23
地震研究所	30		11	2					2		1	46
東洋文化研究所	2		8		5				12		5	32
社会科学研究所	7		4	1	16			14	29		9	80
社会情報研究所	1				3			1	2		3	10
生産技術研究所	20		24	3			1	210	19		6	283
史料編さん所	1		2		1		1				4	9
分子細胞生物学研究所	1		5						6		1	13
宇宙線研究所	51		3					8	46			108
原子核研究所	20		6					3	5		8	42
物性研究所	6		12				1				68	87
海洋研究所	8		30	1			1	6	14		1	61
総合研究博物館	1											1
原子力研究総合センター			1						1			2
環境安全研究センター	2			1								3
先端科学技術研究センター	4		8		1		3	4	20		16	56
気候システム研究センター	21		1								1	23
人工物工学研究センター	7		3					14			1	25
アジア生物資源環境研究センター	2		2									4
大規模集積システム設計教育研究センター	1											1
国際・産学共同研究センター	4		1									5
インテリジェント・モデリング・ラボラトリー	1											1
計	438		300	14	49		24	373	249		299	1,746

注1) 外国人来訪者（表敬訪問・大学施設等の視察）数は除く。

（平成8年度）

注2) 前年度から継続して受入れている者を含む。

国別内訳

地域	国名又は地域名	受入人数	地域	国名又は地域名	受入人数	地域	国名又は地域名	受入人数		
ア	バキスタン	1	ア	エジプト	3	ヨ	ベルギー	7		
	インド	44		ケニア	1		オランダ	15		
	ネパール	1		タンザニア	2		ドイツ	95		
	バングラデシュ	8		ガーナ	1		フランス	116		
	スリランカ	9		セネガル	1		スペイン	8		
	タイ	33		小計	8		ポルトガル	3		
	マレーシア	15		オセアニア	オーストラリア		42	イタリア	22	
	シンガポール	8			ニュージーランド		3	ギリシャ	2	
	インドネシア	21			小計		45	オーストリア	8	
	ジ	フィリピン		10	北米		カナダ	30	ロ	スイス
香港		3	アメリカ合衆国	310		ポーランド	14			
韓国		153	小計	340		チェコ	14			
ヴェトナム		10	中	メキシコ		5	ハンガリー	10		
中国		360		ブラジル		6	旧ユーゴスラビア	4		
台湾		36		アルゼンチン		3	ルーマニア	1		
その他		1		ペルー		4	ブルガリア	4		
小計		713		小計		18	ロシア	63		
中近東		イラン	3	ヨーロッパ		アイスランド	1	エストニア		1
		トルコ	13			フィンランド	6	ラトビア		2
	シリア	1	スウェーデン		22	スロバキア	1			
	イスラエル	12	ノルウェー		4	ウクライナ	11			
	イエメン	1	デンマーク		20	ベラルーシ	1			
	オマーン	1	アイルランド		3	その他	1			
	小計	31	イギリス		99	小計	591			
					合計	63か国2地域	1,746			

(平成8年度)

	白金台ロッジ				駒場ロッジ		合計		
	A棟		B棟		C棟		留学生	研究者	計
	留学生	研究者	留学生	研究者	留学生	研究者			
単身用	9	12	24	10	126	24	159	46	205
夫婦用	6	6	6	18			12	24	36
家族用	3	3	3	8			6	11	17
計	18	21	33	36	126	24	177	81	258

単位：(室)

(平成9年5月1日現在)

備考：この他、三鷹国際学生宿舎の181室が外国人留学生用に充てられている。

日本学術振興会による拠点大学方式による交流……………東京大学

対象国	交流分野	部局名	相手国拠点大学等	開始年度
タイ	海洋科学	海洋研究所	チュラロンコン大学	平成元年
	薬学	大学院薬学系研究科・薬学部	チュラロンコン大学他	平成2年
マレーシア	医学	大学院医学系研究科・医学部	マレーシア理科大学	昭和63年
	海洋科学	海洋研究所	マレーシア農科大学	平成3年
インドネシア	海洋科学	海洋研究所	海洋研究所	昭和63年
中国	工学	大学院工学系研究科・工学部	中国科学技術大学	平成5年

対応機関： タイ……………タイ学術研究会議(NRCT) (平成9年5月1日現在)
 マレーシア……………国立大学長会議(VCC)
 インドネシア……………インドネシア科学院(LIPD)
 中国……………中国科学院(CAS)

国際協力事業団を通じた協力（プロジェクト方式技術協力）……………東京大学

対象国	プロジェクト名	部局名	開始年度
タイ	環境研究研修センター	大学院工学系研究科・工学部	平成2年
	タマサート大学工学部拡充計画	大学院工学系研究科・工学部	平成6年
	未利用農林植物研究計画	大学院農学生命科学研究科・農学部	平成8年
マレーシア	サラワク総合病院救急医療	大学院医学系研究科・医学部	平成4年
フィリピン	エイズ対策	大学院医学系研究科・医学部	平成8年
ヴェトナム	メコンデルタ酸性硫酸塩土壌造林技術開発計画	大学院農学生命科学研究科・農学部	平成8年
中国	中国ポリオ対策	大学院医学系研究科・医学部	平成3年
	鉱物資源探査センター	大学院工学系研究科・工学部	平成6年
	寧夏森林保護研究計画	大学院農学生命科学研究科・農学部	平成6年
ラオス	森林保全復旧計画	大学院農学生命科学研究科・農学部	平成8年
ケニア	社会林業訓練計画（第Ⅱ期）	大学院農学生命科学研究科・農学部	平成4年
タンザニア	キリマンジャロ村落林業計画（第Ⅱ期）	大学院農学生命科学研究科・農学部	平成3年
ガーナ	ガーナ国立野口記念医学研究所	医科学研究所	昭和61年
ブラジル	家族計画・母子保健	大学院医学系研究科・医学部	平成8年
パラグアイ	地域保健強化	大学院医学系研究科・医学部	平成6年
アルゼンチン	水産資源評価管理計画	大学院農学生命科学研究科・農学部	平成6年

(平成9年 5月1日現在)

部局名	区分	受託研究員			内地 研究員	私学 研修員	公立大学 研修員	日本学術振興会特別研究員					合計	
		一般	官庁	小計				PD	DC 2	DC 1	がん	外国人		小計
大学院法学政治学研究科・法学部								9	5	3		1	18	18
大学院医学系研究科・医学部		20		20	3			16	15	28		3	62	85
大学院工学系研究科・工学部		41		41	1			21	39	82		15	157	199
大学院人文社会系研究科・文学部					3	2		32	23	21		3	79	84
大学院理学系研究科・理学部		7	1	8	1			34	74	121		18	247	256
大学院農学生命科学研究科・農学部		18	1	19	2			22	20	39		11	92	113
大学院経済学研究科・経済学部					1			4	3	16			23	24
大学院総合文化研究科・教養学部		1		1		1		24	24	43		5	96	98
大学院教育学研究科・教育学部					3		1	10	1				11	15
大学院薬学系研究科・薬学部		9		9		1		7	7	15		1	30	40
大学院数理科学研究科								10	6	6		1	23	23
医科学研究所		2		2				11			2	3	16	18
地震研究所		1	1	2				3				2	5	7
東洋文化研究所					1			2				1	3	4
社会科学研究所					1		1	1				2	3	5
社会情報研究所					1									1
生産技術研究所		34	1	35				5				11	16	51
史料編さん所					1	1		4					4	6
分子細胞生物学研究所		8		8				4					4	12
宇宙線研究所								1				5	6	6
物性研究所		4		4				8				7	15	19
海洋研究所		2	1	3	1			2				2	4	8
アイソトープ総合センター								1					1	1
環境安全研究センター		1		1										1
先端科学技術研究センター		2		2				2				3	5	7
気候システム研究センター								2					2	2
アジア生物資源環境研究センター								1				1	2	2
国際産学共同研究センター		2		2				2				1	3	5
大規模集積システム設計 教育研究センター		2		2										2
計		154	5	159	19	5	2	238	217	374	2	96	927	1,112

(平成9年5月1日現在)

備考 日本学術振興会特別研究員は、次のような採用区分を示す。PD: 博士課程修了者、DC2: 博士課程2年次以上在学者等、DC1: 博士課程1年次在学者等、がん: 博士課程修了者でがん研究に専念する者、外国人: 我が国と国交のある国の国籍を有す博士の学位取得後5年以内の者

寄付講座

部局名	名称	設置期間	寄付総額(百万円)	寄付者
医学部	脈管病態生理学(ツムラ)	平成6年7月～9年7月※	200	株式会社ツムラ
	肝炎ウイルス学(SKBB)	平成7年12月～10年11月	90	スミスクラインピーチャムバイオロジカルズ(ベルギー)
	薬剤疫学	平成8年4月～11年3月	135	武田薬品工業株式会社 他14社
	生体防御機能学(ツムラ)	平成8年7月～11年7月	150	株式会社ツムラ
大学院 工学系研究科	相関製鉄システム学(BF5)	平成4年10月～9年9月	200	新日本製鐵㈱・川崎製鐵㈱・日本鋼管㈱・神戸製鋼所・住友金属工業㈱
	交通システム工学(JR東海)	平成7年4月～10年3月	120	東海旅客鉄道株式会社
	地球環境工学(信越化学)	平成9年4月～12年3月	120	信越化学工業株式会社
	メンテナンス工学(JR東日本)	平成9年4月～12年3月	150	東日本旅客鉄道株式会社
	極限環境材料構造信頼性工学(東京電力)	平成9年4月～12年3月	120	東京電力株式会社
薬学部	機能病態学	平成4年10月～9年9月	250	武田薬品工業株式会社

※平成3年7月～6年7月を9年7月まで更新。

(平成9年5月1日現在)

寄付研究部門

部局名	名称	設置期間	寄付総額(百万円)	寄付者
大学院 法学政治学研究科	国際資本市場法	平成5年10月～10年9月	100	財団法人学術振興野村基金
医科学研究所	遺伝子制御	平成7年4月～12年3月	250	エーザイ株式会社
	幹細胞シグナル分子制御(アムジェン)	平成7年4月～12年3月	620	アムジェン株式会社
	細胞プロセッシング(旭化成)	平成7年9月～10年8月	190	旭化成工業株式会社
	造血因子探索(中外製薬)	平成8年9月～11年8月	120	中外製薬株式会社
気候システム 研究センター	グローバル気候変動学(伊藤忠グループ)	平成9年4月～12年3月	60	伊藤忠商事株式会社 他伊藤忠グループ 12社

(平成9年5月1日現在)

部局名	保有件数		申請中の件数		国内実施 件数
	国内	外国	国内	外国	
大学院医学系研究科	4	4			1
大学院工学系研究科	19	17	12		1
大学院理学系研究科	4	1	1	1	
大学院総合文化研究科	9	63	3	13	
医科学研究所	1				
地震研究所	1				1
生産技術研究所	18	1	13		6
分子細胞生物学研究所	1				
先端科学技術研究センター	1		1		
合計	58	86	30	14	9

(平成9年5月1日現在)

外国特許国別保有件数

国名	保有件数	申請中の件数
ベルギー	6	0
フランス	10	1
ドイツ	10	1
イタリア	8	1
オランダ	7	0
スウェーデン		1
スイス (リヒテンシュタイン)	9	1
イギリス	10	1
カナダ	6	5
アメリカ	20	3
合計	86	14

(平成9年5月1日現在)

医学部附属病院

(入院患者数)		
診療科名	実在病床数	入院患者延数
第一内科	64	23,176
第二内科	61	21,442
第三内科	72	23,455
物療内科	49	17,017
老人科	28	8,963
第一外科	51	18,302
第二外科	40	14,465
脳神経外科	28	9,830
胸部外科	36	12,293
整形外科	46	15,637
産科婦人科	54	19,553
小児科	48	12,316
眼科	40	10,059
皮膚科	31	9,276
泌尿器科	40	11,692
精神神経科	39	11,313
耳鼻咽喉科	49	13,397
放射線科	21	9,462
麻酔科	5	1,830
歯科口腔外科	20	5,578
形成外科	15	5,034
小児外科	16	5,386
神経内科	33	11,733
小計	(5) 891	291,209

※小計欄 () はICU 分で内数

(外来患者数)	
診療科名	外来患者延数
脳神経外科	13,416
胸部外科	8,190
整形外科	39,907
産科婦人科	38,082
小児科	16,566
眼科	61,715
皮膚科	42,824
泌尿器科	20,904
精神神経科	34,391
耳鼻咽喉科	31,594
放射線科	6,513
麻酔科	6,524
歯科口腔外科矯正歯科	17,685
形成外科	8,560
小児外科	4,326
総合内科	21,058
循環器内科	40,132
腎臓内科	11,474
呼吸器内科	13,425
消化器内科	45,555
血液・腫瘍内科	8,429
内分泌・代謝内科	29,937
アレルギー・リウマチ・膠原病内科	24,543
神経内科	17,037
感染症内科	0
老人科	13,118
心療内科	1,518
一般外科	7,340
血管外科	9,403
内分泌外科	4,996
上部消化管外科	7,497
下部消化管外科	7,865
肝・胆・膵外科	6,109
小計	620,633

医学部附属病院分院

診療科名	実在病床数	入院患者延数	外来患者数
内科	57	15,512	44,854
外科	58	17,435	18,226
耳鼻咽喉科	15	3,004	9,582
眼科	11	3,457	19,053
産科婦人科	29	6,020	8,259
小児科	30	3,792	9,166
皮膚科	5	1,035	10,481
泌尿器科	8	2,723	5,982
放射線科	2	88	2,227
歯科口腔外科	2	84	10,529
神経科	15	4,025	10,482
整形外科	13	4,410	8,885
心療内科	-	-	6,813
小計	245	61,585	164,539

医科学研究所附属病院

診療科名	実在病床数	入院患者延数	外来患者延数
内科		10,481	5,484
外科		6,256	5,093
放射線科	混合 135	-	107
人工臓器移植科		3,752	4,414
感染免疫内科		5,905	7,174
小計	135	26,394	22,272

	実在病床数	入院患者	外来患者
合計	(5)		
	1,271	379,188	807,444

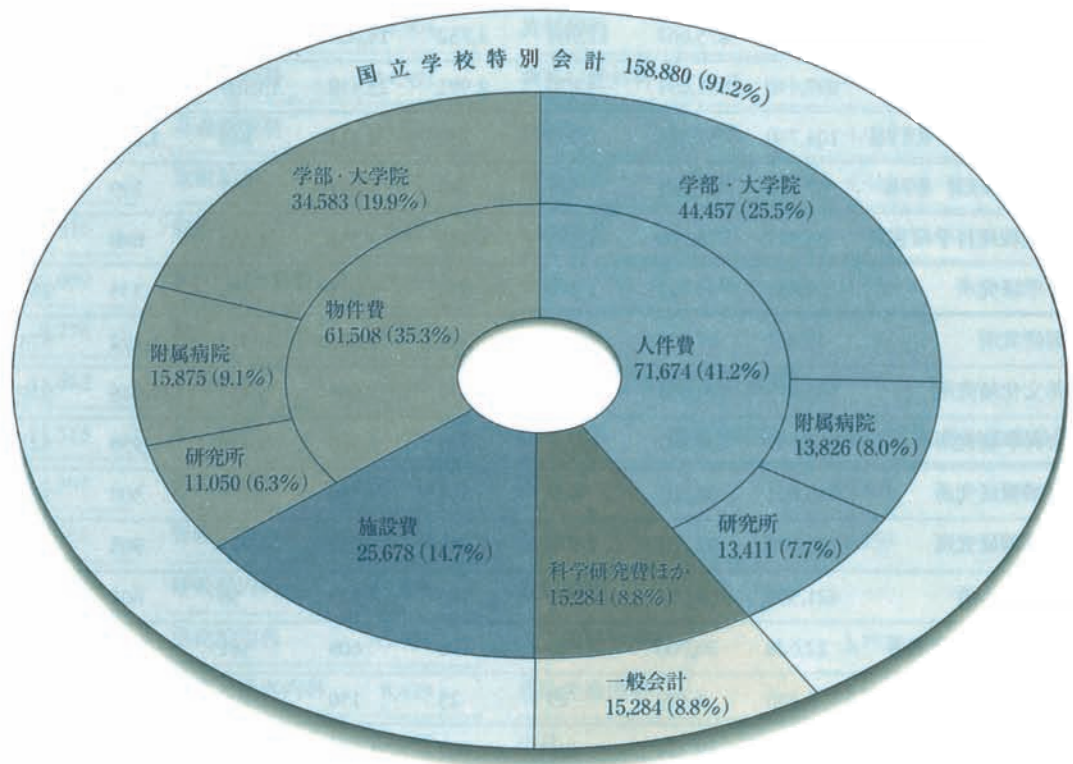
(平成8年度)

区分	蔵書数				受入資料数			
	図書(冊)		逐次刊行物(種)		図書(冊)		逐次刊行物(種)	
	総計	総計のうち洋書数	総計	総計のうち洋書数	総計	総計のうち洋書数	総計	総計のうち洋書数
大学院法政政治学研究所・法学部	640,257	393,100	9,572	1,792	15,119	7,594	1,742	1,078
大学院医学系研究所・医学部	279,566	187,780	7,552	4,771	4,550	2,499	2,593	1,279
医学部附属病院分院	38,778	21,237	443	225	891	481	314	171
大学院工学系研究所・工学部	388,289	229,389	7,004	3,656	8,600	5,581	3,595	1,699
大学人文社会系研究所・文学部	725,652	378,361	9,289	3,734	21,348	11,904	4,263	1,579
大学院理学系研究所・理学部	219,915	183,124	7,851	5,537	5,670	5,035	3,173	2,035
大学院農学生命科学研究科・農学部	329,153	140,430	10,924	5,160	5,979	3,773	4,405	2,479
農学部附属演習林	24,475	7,097	63	32	25	8	32	17
大学院経済学研究所・経済学部	596,862	275,667	11,784	4,732	14,600	4,627	1,452	571
大学院総合文化研究所・教養学部	997,440	531,091	4,870	2,991	23,418	13,107	3,704	1,860
大学院教育学研究所・教育学部	104,740	51,484	2,961	780	2,211	849	1,122	329
大学院薬学系研究所・薬学部	37,186	27,681	525	283	1,871	1,651	199	115
大学院数理科学研究科	84,377	76,708	1,385	1,232	3,331	3,056	688	585
医科学研究所	54,834	45,721	1,270	952	1,011	984	335	261
地震研究所	45,401	27,724	1,644	798	1,033	515	1,122	574
東洋文化研究所	536,675	120,051	5,547	3,816	7,585	3,437	1,648	919
社会科学研究所	266,857	108,287	1,777	530	6,100	2,429	958	421
社会情報研究所	148,891	66,603	880	354	4,350	2,263	300	132
生産技術研究所	153,170	92,181	2,278	1,339	1,722	1,175	905	510
史料編さん所	421,595	9,904	1,936	166	4,979	56	601	5
分子細胞生物学研究所	22,628	20,700	370	198	609	581	392	203
宇宙線研究所	5,146	4,409	25	25	150	108	34	25
物性研究所	59,467	49,724	485	409	1,615	1,460	219	181
海洋研究所	34,825	25,765	1,841	817	798	711	1,232	533
総合研究博物館	2,800	1,500	-	-	0	0	-	-
大型計算機センター	6,926	3,095	142	81	145	112	88	51
アイソトープ総合センター	1,903	967	69	41	54	36	12	4
低温センター	907	583	17	6	41	37	17	6
先端科学技術研究センター	70,201	52,731	1,539	1,272	815	706	42	22
小計	6,298,916	3,133,094	94,043	45,729	138,620	74,775	35,187	17,644
総合図書館	1,087,361	449,496	23,259	13,565	15,450	4,654	7,023	2,377
合計	7,386,277	3,582,590	117,302	59,294	154,070	79,429	42,210	20,021

(平成9年5月1日現在)

支出総額 174, 164

(単位：百万円)



(注) 学部・大学院の物件費には、奨学寄附金等外部資金が含まれる。

備考

① 東京大学の自己収入としては、授業料及び入学検定料 (12,077百万円)、病院収入 (19,889百万円)、奨学寄附金 (6,121百万円)、民間等との共同研究等収入 (6,742百万円)、その他 (2,334百万円)、計47,163百万円の収入がある。

(注) 自己収入額は、平成8年5月15日現在の額である。

② 文部省は、各大学の自己収入と国の一般会計からの繰入資金を財源として、各大学の規模や教育・研究計画に応じて配分する。

研究種目	交付件数	交付金額 (百万円)
特別推進研究	10	453
重点領域研究	363	4,403
基盤研究 (A)	505	3,063
基盤研究 (B)	538	1,573
基盤研究 (C)	525	693
萌芽的研究	82	128
奨励研究 (A)	301	304
国際学術研究 (学術調査)	46	292
国際学術研究 (がん特別調査)	2	10
国際学術研究 (共同研究)	61	284
国際学術研究 (大学間協力研究)	5	10
創成的基礎研究費	6	627
COE形成基礎研究費	4	1,025
特別研究員奨励費	824	767
合計	3,272	13,632

(平成8年度)

- 備考 特別推進研究……国際的に高い評価を得ている研究であって、格段に優れた研究成果をもたらす可能性のある研究
- 重点領域研究……学術的・社会的要請の強い研究領域について一定期間、重点的かつ機動的に行う研究
- 基盤研究……一人で行う研究又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究
- 萌芽的研究……独創的な発想、特に意外性のある着想に基づく芽生え期の研究
- 奨励研究……研究歴の若い研究者が一人で行う研究
- 国際学術研究……国外の特定地域や研究機関における調査研究及び国外の研究者との共同研究が不可欠な研究
- 創成的基礎研究費……新プログラム方式による研究の推進の助成
- COE形成基礎研究費……卓越した研究拠点 (COE) の形成の助成
- 特別研究員奨励費……日本学術振興会の特別研究員が行う研究の助成

区分	件数	受入額 (百万円)
民間等との 共同研究	A	49 348
	B	43 193
	C	23 11
	計	115 552
受託研究	国	242 889
	国以外	302 5,033
	計	544 5,922
奨学寄附金	5,480	6,121

(平成8年度)

- 備考 1. 「民間等との共同研究」は、次の3つに区分されている。
 A：民間等から研究者とともに直接経費を受け入れ、国においても共同研究費を負担するもの。
 B：民間等から研究者とともに直接経費を受け入れるもの。
 C：民間等から研究者のみを受け入れるもの。
2. 「受託研究」欄の「国」には、国以外の団体等で国から委託を受け、その再委託により研究を委託することが明確なものを含む。

地区名	部局等名称	所在地・電話番号	土地 (㎡)	建物 (㎡)		
本郷地区	事務局 附属図書館 法学政治学研究科・法学部 医学系研究科・医学部 医学部附属病院 工学系研究科・工学部 人文社会系研究科・文学部 理学系研究科・理学部 経済学研究科・経済学部 教育学研究科・教育学部 薬学系研究科・薬学部 東洋文化研究所 社会科学研究所 社会情報研究所 史料編さん所 総合研究博物館 環境安全研究センター 遺伝子実験施設 留学生センター 大学総合教育研究センター 保健管理センター 素粒子物理国際研究センター	文京区本郷7-3-1 03(3812)2111	402,682	540,121		
	浅野地区	工学部附属総合試験所 低温センター アイソトープ総合センター 原子力研究総合センター 教育用計算機センター 大型計算機センター 大規模集積システム設計教育研究センター等	文京区弥生2-11-16 03(3812)2111	43,787	53,556	
		弥生地区	農学生命科学研究科・農学部 農学部附属演習林 地震研究所 分子細胞生物学研究所 生物生産工学研究センター アジア生物資源環境研究センター等	文京区弥生1-1-1 03(3812)2111	112,968	82,797
			向ヶ岡学寮	文京区弥生2-18-10	1,898	816
			追分学寮	文京区向丘1-12-7	1,576	911
			小石川地区	医学部附属病院分院	文京区目白台3-28-6 03(3943)1151	22,799
	理学部附属植物園等	文京区白山3-7-1 03(3814)0138		160,787	3,172	
	駒場地区	総合文化研究科・教養学部 数理科学研究科	目黒区駒場3-8-1 03(5454)6014	255,325	118,543	
		先端科学技術研究センター	目黒区駒場4-6-1 03(3481)4411	97,433	35,577	
		人工物工学研究センター	同 03(5453)5882			
		国際・産学共同研究センター	同 03(3485)7582			
		気候システム研究センター	同 03(5453)3950			
	インターナショナルロッジ (駒場ロッジ)	目黒区駒場4-6-29 03(3485)1980				
	中野地区	教育学部附属中・高等学校	中野区南台1-15-1 03(3377)3411	48,663	21,789	
		海洋研究所	同 03(5351)6342			

地区名	部局等名称	所在地・電話番	土地 (㎡)	建物 (㎡)
六本木地区	生産技術研究所	港区六本木7-22-1 03(3402)6231	47,816	51,664
	物性研究所	同 03(3478)6811		
白金地区	医科学研究所 同 附属病院	港区白金台4-6-1 03(3443)8111	68,450	52,488
	インターナショナルロッジ (白金台ロッジ)	港区白金台4-6-41 03(3473)5336		
	白金学寮	港区白金4-10-27	2,453	1,733
田無地区	農学部附属農場	田無市緑町1-1-1 0424(63)1611	222,358	5,816
	農学部附属演習林田無試験地	田無市緑町1-1-8 0424(61)1528	91,219	602
	理学系研究科附属原子核科学研究センター	田無市緑町3-2-1 0424(69)2222	43,642	18,802
	宇宙線研究所 物性研究所附属軌道放射物性研究施設	同 0424(69)2141 同 0424(69)2151		
三鷹地区	理学部附属天文学教育研究センター	三鷹市大沢2-21-1 0422(34)3739	(借入144) 32,445	(借入288) 99
	三鷹国際学生宿舍	三鷹市新川6-22-12	29,438	12,927
	井の頭学寮	三鷹市下連雀2-21-6	1,612	1,270
	三鷹馬場	三鷹市大沢2-21-1	(借入300) 5,444	275
その他(都内)	豊島学寮	豊島区西巣鴨2-31-7	(地上権10) 8,584	3,006
	その他		(借入26,705) 20,002	(借入1,253) 31,009
北海道	文学部附属北海文化研究常呂実習施設	常呂郡常呂町栄浦 0152(54)2387	(借入835)	(借入660) 213
	農学部附属北海道演習林	富良野市字山部市街地2条通北1 0167(42)2111	(借入172,371) 228,232,030	4,361
岩手県	海洋研究所附属大槌臨海研究センター	上閉伊郡大槌町赤浜2-106-1 0193(42)5611	(借入11,664) 35,445	3,392
宮城県	地震研究所附属江の島津波観測所	牡鹿郡女川町江の島145 0225(56)2004	(借入368)	92
茨城県	工学部附属原子力工学研究施設	那珂郡東海村白方白根2-22 029(287)8400	(借入26,676) 3,303	12,297
	農学部附属牧場	西茨城県岩間町大字安居3145 0299(45)2606	361,229	6,290
	物性研究所附属中性子散乱研究施設	那珂郡東海村白方白根106-1 0292(87)8900	2,893	1,403
栃木県	理学部附属植物園日光分園	日光市花石町1842 0288(54)0206	(借入11) 104,850	613
埼玉県	農学部附属秩父演習林	秩父市日野田町1-1-49 0494(22)0272	(借入6,141) 58,208,638	1,622

(平成9年3月31日現在)

地区名	部局等名称	所在地・電話番号	土地 (㎡)	建物 (㎡)	
千葉県	柏キャンパス	柏市柏の葉5-1-5	116,417		
	検見川地区 農学部附属 緑地植物実験所	検見川総合運動場	千葉市花見川区浪花町26 043(273)8071	272,405	4,240
		農学部附属 緑地植物実験所	千葉市花見川区畑町1051 043(273)8326	47,031	1,070
		薬学部附属薬用植物園	千葉市花見川区畑町1479 043(273)7413	3,973	514
	生産技術研究所附属千葉実験所	千葉市稲毛区弥生町1-8 043(251)8311	91,703	13,180	
	農学部附属千葉演習林	安房郡天津小湊町天津770 04709(4)0621	(借入3,790) 21,695,138	2,739	
神奈川県	理学部附属臨海実験所	三浦市三崎町小網代1024 0468(81)4105	(借入167) 76,555	4,445	
	農学部附属農場二宮果樹園	中郡二宮町中里518 0463(71)0173	39,293	1,362	
山梨県	農学部附属富士演習林	南都留郡山中湖村山中341-2 0555(62)0012	(借入299,987) 78,645	151	
	宇宙線研究所附属明野観測所	北巨摩郡明野村浅尾5259 0551(25)2301	(借入59,672)	(借入208) 2,859	
長野県	理学部附属天文学教育研究センター木曾観測所	木曾郡三岳村10762-30 0264(52)3360	(借入65,509)	2,299	
	地震研究所附属八ヶ岳地球電磁気観測所	南佐久郡小海町大字豊里字川原田20-2 0267(92)2468	(借入19,751)	266	
岐阜県	宇宙線研究所附属乗鞍観測所	大野郡丹生川村乗鞍岳(7月~10月) 長野県南安曇郡安曇村乗鞍岳(11月~6月) 0263(33)7456	(借入57,504)	1,438	
	宇宙線研究所附属 神岡宇宙素粒子研究施設	吉城郡神岡町東茂住字下町456-1 0578(5)2116	(借入2,757)	(借入55) 2,054	
静岡県	農学部附属演習林樹芸研究所	賀茂郡南伊豆町加納457 0558(62)0021	2,460,144	958	
	農学部附属水産実験所	浜名郡舞阪町舞阪2971-4 053(592)2821	(借入19,960)	2,599	
愛知県	農学部附属愛知演習林	瀬戸市五位塚町11-44 0561(82)2371	(借入1,857) 12,916,943	1,885	
鹿児島県	医科学研究所 附属奄美病害動物研究施設	大島郡瀬戸内町大字手安字須手802 09977(2)0373	8,043	523	
その他	(その他保健体育寮、地震研究所観測所等)		(借入129,963) (地上権7,165) 557,378	(借入106) 37,090	
総計	建物			1,153,458	
	国有地		3,350,680		
	借入		421,986	2,570	
	地上権		7,175		
船舶	(汽船)		4,503t	10隻	
	(雑船)			43隻	

備考 1. 総計欄は、演習林施設を除く。

(平成9年3月31日現在)

2. ()内数字は外数である。

3. 「部局等名称」に未掲載の施設については、各部局の本部施設内等に設置されているため、本欄への掲載を省略している。

講堂等施設

名 称	設 備 等
大講堂 (安田講堂)	講 堂 1,144席 (3階席 728 4階席 416) その他 便殿, 展示室, 控室等
山上会館	会議室 6室 (99名 1室, 16名 3室, 28名 2室) 特別室 1室 (18名 1室) 研究室 7室 (2名 1室, 1名 6室) その他 談話ホール, 食堂, ロビー, 応接室等
山上会館 龍岡門別館	宿泊室 18室 (ツインルーム 4室, シングルルーム 14室) 宿泊者用キッチン (3), ランドリー (1) その他 食堂, ラウンジ等

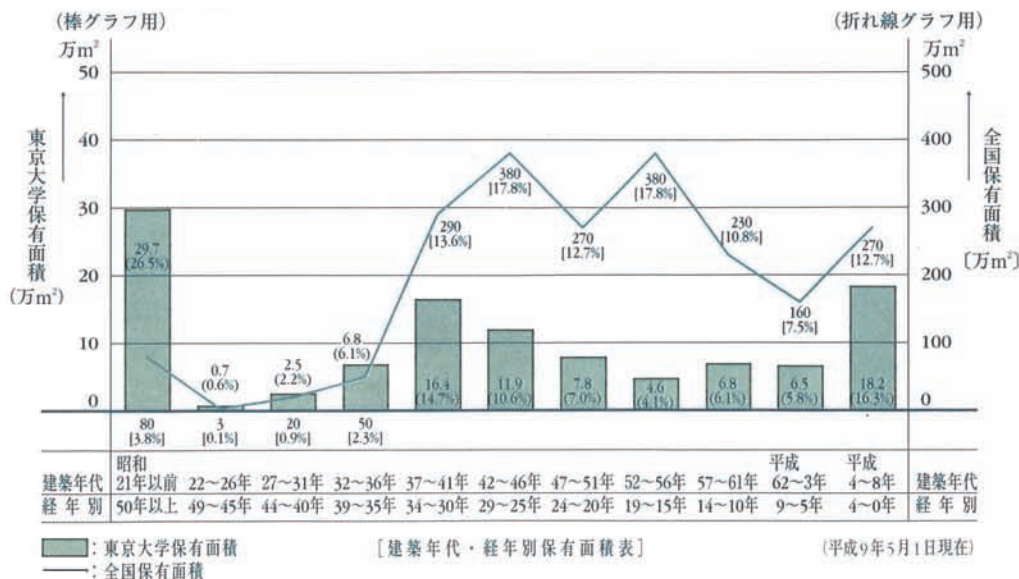
体育施設・福利厚生施設等

	本郷キャンパス	駒場キャンパス	検見川キャンパス	その他
体 育 施 設	御殿下記念館 (ジムナジ アム・トレーニング室・ 屋内プール)、武道場、 弓道場、第二食堂建物地 下プール、御殿下グラウ ンド、農学部グラウンド、 テニスコート7面、野球 場1面	第一・第二体育館、トレ ーニング体育館、弓道場、 陸上競技場、ホッケー場、 ラグビー場、テニスコ ート12面、バレーコート4 面、野球場1面、相撲道 場1場	体育館、サッカー場5面、 ラグビー場1面、アメリ カンフットボール場1 面、ホッケー場1面、ク ロスカントリーコース、 テニスコート8面、野球 場1面、セミナーハウス (定員182名)	戸田橋 艇 庫、三鷹 馬場、戸 田寮、山 中寮、下 賀茂寮、 谷川寮
福 利 厚 生 施 設 等	学生食堂 (第一・第二・ 中央・農学部の4か所)、 生協 (書籍部、購買部、 プレイガイド、トラベル センター他)、専門店 (写真関係、靴、製本、 文具、時計、衣料、理髪、 蕎麦)、学生部センター、 学生相談所	学生食堂、生協 (書籍部、 購買部)、学生会館、学 生相談所		

学生寄宿舎等

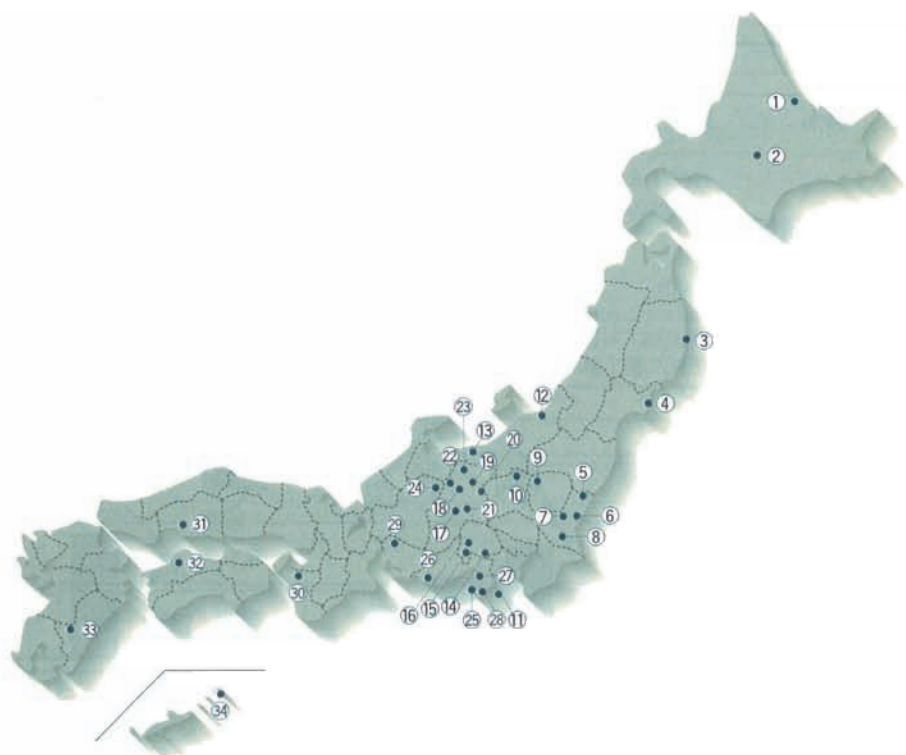
施設名	定員	対象	施設名	定員	対象	施設名	定員	対象
追分学寮	79名	男	向ヶ岡学寮	66名	男	豊島学寮	200名	男
井之頭学寮	64名	男	白金学寮	92名	女	三鷹国際 学生宿舎	605名	男・女 (留学生を含む)

建物保有面積の状況



全 国

- ① 文学部附属北海文化研究常呂実習施設
- ② 農学部附属北海道演習林
- ③ 海洋研究所附属大植臨海研究センター
- ④ 地震研究所附属江の島津波観測所
- ⑤ 工学部附属原子力工学研究施設及び物性研究所附属中性子散乱研究施設
- ⑥ 農学部附属牧場
- ⑦ 農学部放射線育種共同利用施設
- ⑧ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター筑波地震観測所
- ⑨ 理学部附属植物園日光分園
- ⑩ 谷川寮
- ⑪ 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター伊豆大島火山観測所
- ⑫ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター弥彦地殻変動観測所
- ⑬ 池の平寮
- ⑭ 農学部附属富士演習林及び山中寮
- ⑮ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター富士川地殻変動観測所
- ⑯ 宇宙線研究所附属明野観測所
- ⑰ 理学部附属天文学教育研究センター木曾観測所
- ⑱ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター信越地震観測所
- ⑲ 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター浅間火山観測所
- ⑳ 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター小諸火山化学研究施設
- ㉑ 地震研究所附属八ヶ岳地球電磁気観測所
- ㉒ 宇宙線研究所附属乗鞍観測所及び同鈴蘭連絡所
- ㉓ 野尻寮
- ㉔ 宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設
- ㉕ 農学部附属演習林樹芸研究所
- ㉖ 農学部附属水産実験所
- ㉗ 戸田寮
- ㉘ 下賀茂寮
- ㉙ 農学部附属愛知演習林
- ㉚ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター和歌山地震観測所
- ㉛ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター広島地震観測所
- ㉜ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター松山地殻変動観測所
- ㉝ 地震研究所附属火山噴火予知研究推進センター霧島火山観測所
- ㉞ 医科学研究所附属奄美病害動物研究施設

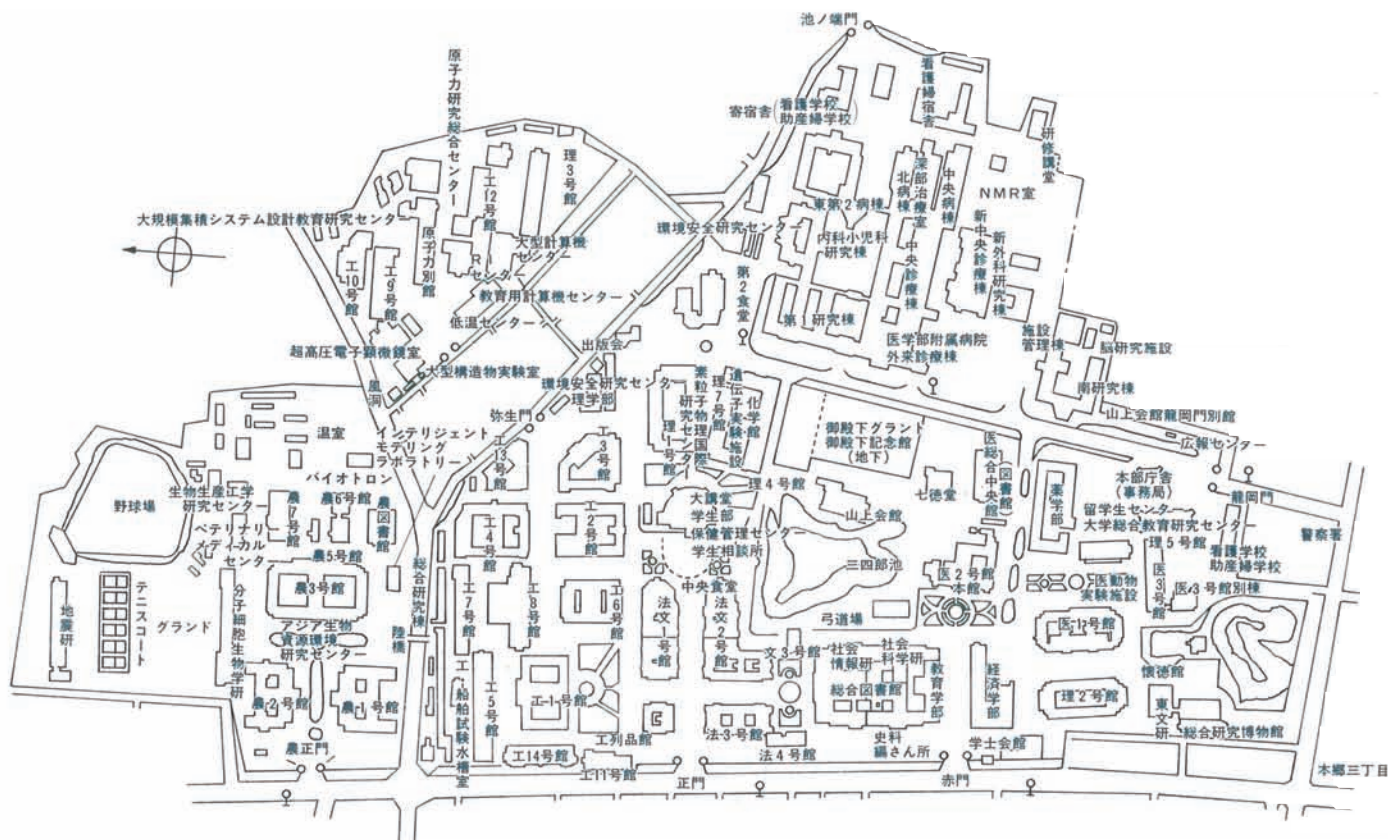


東京近郊

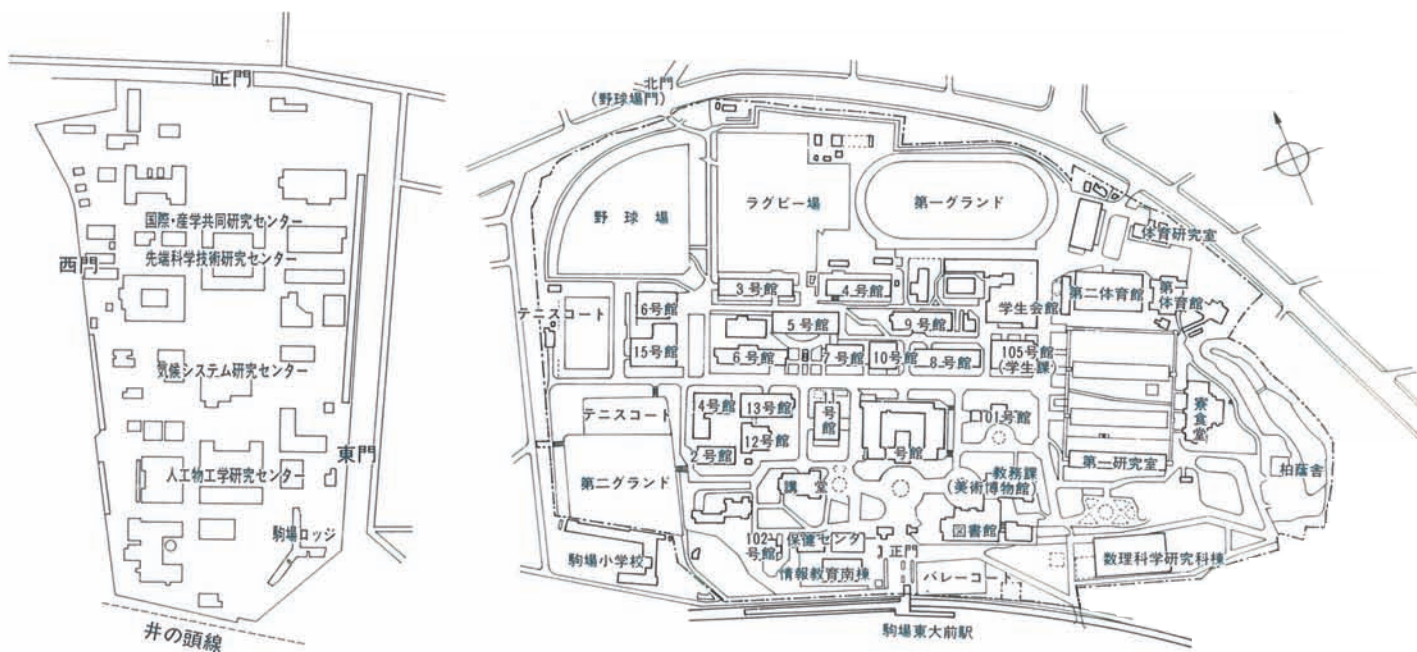
- ① 本郷地区(事務局、附属図書館、法学政治学研究科・法学部、医学系研究科・医学部、医学部附属病院、工学系研究科・工学部、人文社会系研究科・文学部、理学系研究科・理学部、経済学研究科・経済学部、教育学研究科・教育学部・薬学系研究科・薬学部、東洋文化研究所、社会科学研究所、社会情報研究所、史料編さん所、総合研究博物館、環境安全研究センター、遺伝子実験施設、留学生センター、大学総合教育研究センター、保健管理センター、素粒子物理国際研究センター)
- ② 浅野地区(工学部附属総合試験所、低温センター、アイソトープ総合センター、原子力研究総合センター、教育用計算機センター、大型計算機センター、大規模集積システム設計教育研究センター等)
- ③ 弥生地区(農学生命科学研究科・農学部、農学部附属演習林、地震研究所、分子細胞生物学研究所、生物生産工学研究センター、アジア生物資源環境研究センター等)
- ④ 小石川地区(医学部附属病院分院、理学部附属植物園等)
- ⑤ 駒場地区(総合文化研究科・教養学部、数理学研究科、先端科学技術研究センター、人工物工学研究センター、国際・産学共同研究センター、気候システム研究センター、インターナショナルロッジ等)
- ⑥ 中野地区(教育学部附属中・高等学校、海洋研究所)
- ⑦ 六本木地区(生産技術研究所、物性研究所)
- ⑧ 白金地区(医科学研究所、同附属病院、インターナショナルロッジ等)
- ⑨ 田無地区(農学部附属農場、農学部附属演習林田無試験地、理学系研究科附属原子核科学研究センター、宇宙線研究所、物性研究所附属軌道放射物性研究施設)
- ⑩ 三鷹地区(理学部附属天文学教育研究センター等)
- ⑪ 農学部附属秩父演習林
- ⑫ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター堂平観測所
- ⑬ 柏地区
- ⑭ 検見川地区(検見川総合運動場、農学部附属緑地植物実験所、薬学部附属薬用植物園)
- ⑮ 生産技術研究所附属千葉実験所
- ⑯ 農学部附属千葉演習林
- ⑰ 地震研究所附属地震地殻変動観測センター鋸山地殻変動観測所
- ⑱ 理学部附属臨海実験所及び地震研究所附属地震地殻変動観測センター油壺地殻変動観測所
- ⑲ 農学部附属農場二宮果樹園



本郷キャンパス



駒場キャンパス



本郷キャンパス全景



駒場キャンパス全景

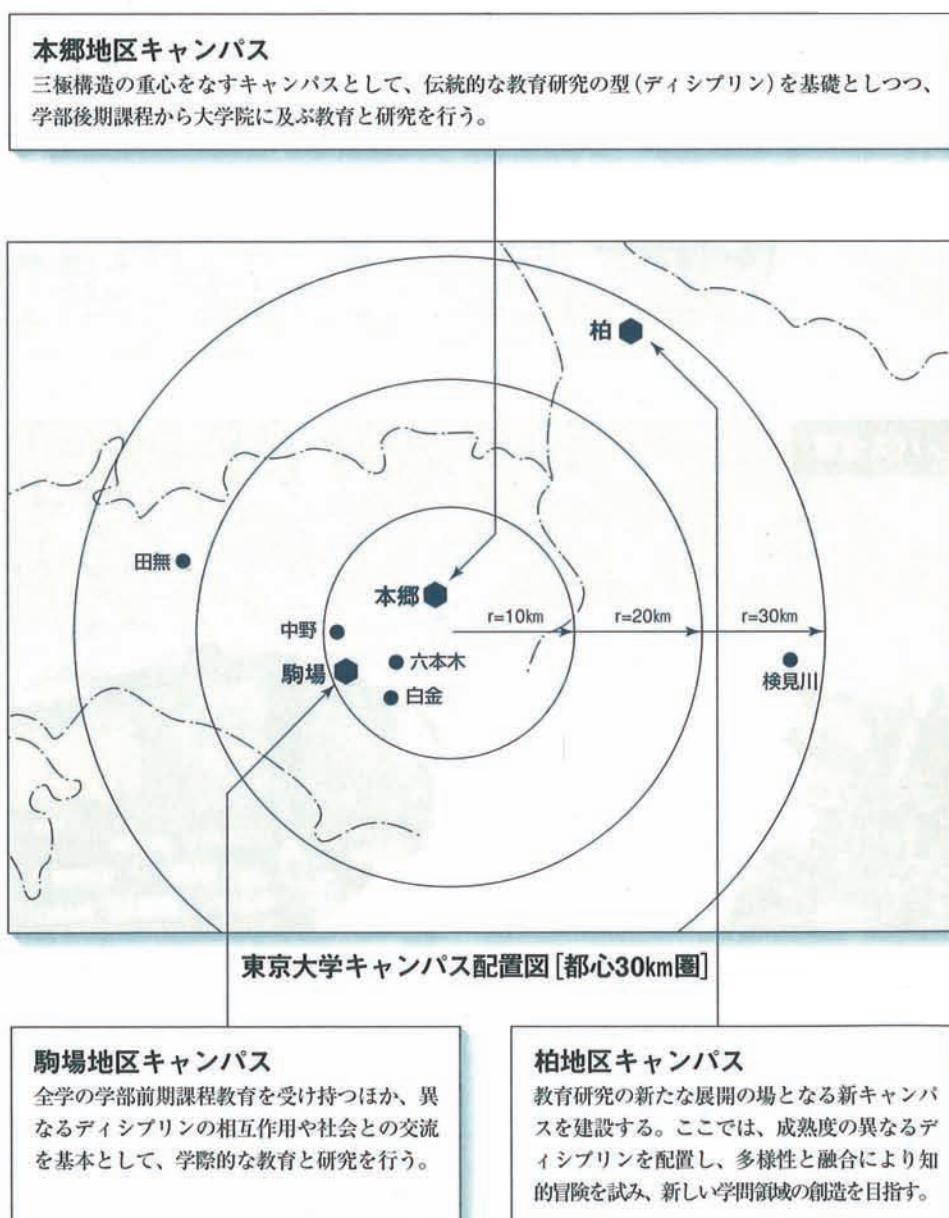


三極構造構想

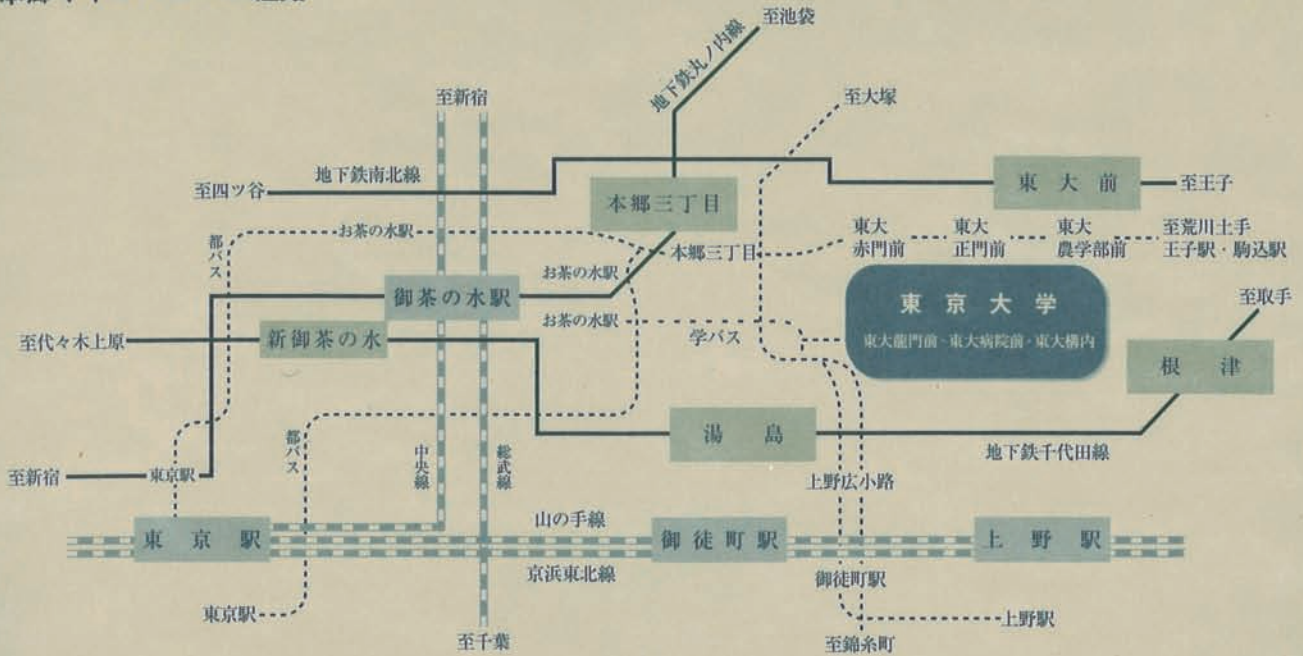
東京大学は、平成4年6月に三極構造構想を内容とする「東京大学キャンパス計画の概要」を策定した。この構想は、①老朽・狭隘化の顕著な教育・研究環境を改善するため本郷、駒場地区等の既存キャンパスの再開発を行うとともに、②学術の発展・高度化に対応する21世紀に向けたアカデミックプランを実現するため、新たに千葉県柏市に新キャンパスを取得し、本郷、駒場及び柏の3地区を軸とし、検見川地区等も加えた関連キャンパスの総合的な整備充実を図ろうとするものである。

この三極構造構想は、東京大学の教育研究の将来構想をキャンパス面に投影したものであると同時に、政府機関の一極集中の是正という社会的要請にも配慮しつつ、各キャンパスで展開される活動の有機的連関を確保するため、日常的往來の可能な位置に主要キャンパスを配置しようとするものである。

国の平成7年度補正予算において柏新キャンパスの整備への着手が認められ、用地の一部取得を経て平成8年11月に施設の起工を迎えたことなどにより、三極構造構想の具体化に向け大きな前進をすることになった。

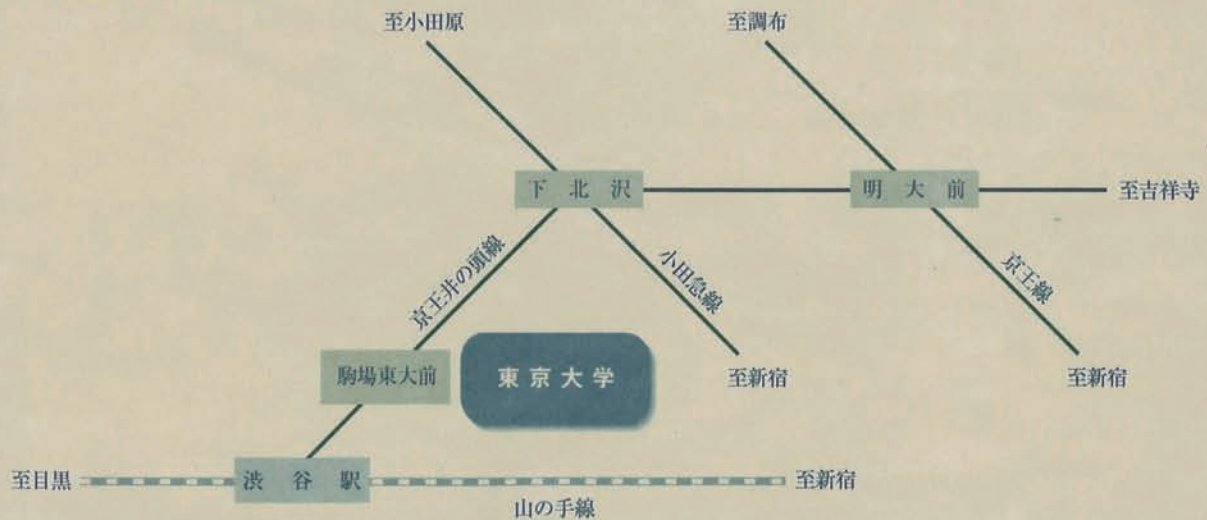


本郷キャンパスへの経路



最寄り駅	所要時間	最寄り駅	所要時間	最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅 (地下鉄丸の内線)	徒歩8分	湯島駅又は根津駅 (地下鉄千代田線)	徒歩8分	東大前駅 (地下鉄南北線)	徒歩1分
お茶の水駅 (JR中央線、総武線)	地下鉄利用 地下鉄利用 都バス利用 学バス利用	丸の内(池袋行) — 本郷三丁目駅下車 千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車 茶51駒込駅、王子駅又は東33荒川土手行 — 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車 学07東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車			
上野駅及び御徒町駅 (JR山の手線等)	都バス利用 学バス利用	都02大塚駅行 — 湯島四丁目下車(御徒町駅のみ) 学01東大構内行 — (龍岡門、病院前、構内バス停)下車			

駒場キャンパスへの経路



駒場東大前	私鉄利用	京王帝都線の頭線(吉祥寺方面行) — 駒場東大前駅下車
下北沢駅(小田急線)及び明大前駅(京王帝都線)	私鉄利用	京王帝都線の頭線(渋谷行) — 駒場東大前駅下車



発行 東京大学

編集 東京大学総務部学務課

〒113 東京都文京区本郷7-3-1 03-3812-2111